

資料2

羅臼昆布の歴史は知床岬にあり -知床岬 399 番地上陸ツアー-
実施報告と今後のあり方

【目的】

知床の豊かな海の生態系に支えられて、原生的自然環境の中で生活しながら家族単位で営まれていた、漁業と自然との共生の歴史を町内外に伝えていくこと。

【提案の背景・理由】

知床半島先端部地区は、一般観光やレクリエーション目的の動力船による上陸が認められておらず(「知床岬地区の利用規制指導に関する申し合わせ」)、全く人の立ち入らないイメージがあるが、羅臼町側の海岸線では 70 年以上前から昆布漁が行われ、50 代以上の地元住民は岬などでの漁労活動を経験しており、知床の自然についての体験を自らの経験から語ることができる。しかし、先端部地区の漁家は年々減少しており、この地区での漁労活動そのものが見られなくなる可能性があり、先端部地区の自然や歴史を知らない地元住民が増えつつある。観光客並びに地元住民に対して伝統的に続く羅臼の漁業活動を現地で紹介し、知床における人と自然の関わり合いや共生の歴史を後世に伝え伝承してゆく必要がある。

※2018 年をもって、先端部地区の漁家はなくなる

【実績と成果】

1-1 5年間の回数と人数

平成 29 年	実施なし 許可が下りてから PR までに時間がなかった為
平成 30 年	実施回数 8 回:参加者数 68 名・添乗員 5 名・町民 2 名・関係者 11 名
令和 元年	実施回数 3 回:参加者数 20 名・添乗員 1 名・取材 6 名
令和 2 年	実施なし 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
令和 3 年	実施無し 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

(1)平成 30 年度実施日及び参加者

○1回目 7.23～7.24

参加者数 13 名(ほか添乗員1名)

主催者側 ガイド(船頭含む)6 名

○2回目 7.24～7.25

参加者数 7 名(ほか添乗員 1 名)、町民参加者1名、関係者 1 名、

主催者側 ガイド(船頭含む)3名

○3回目 7.27～7.28

参加者数 3 名、町民参加者、関係者2名

主催者側 ガイド(船頭含む)3名

○4回目 7.28～7.29

参加者数 16 名(添乗員1名)、町民参加者1名、関係者1名、

主催者側 ガイド(船頭含む)4 名

○5回目 7.29～7.30

参加者数 9名

主催者側 ガイド(船頭含む)2 名

○6回目 7.31～8.1

参加者数 14 名(添乗員1名)、関係者 2 名、

主催者側 ガイド(船頭含む)4 名

○7回目 8.5～8.6

参加者数 4 名(添乗員1名)、関係者 3 名、

主催者側 ガイド(船頭含む)4 名

○8回目 8.13～8.14

参加者数 2 名、関係者 2 名、
主催者側 ガイド(船頭含む)4 名

- 実施回数計8回 参加者数68名(ほか添乗員5名)、町民参加者2名、
関係者参加者11名

(2)令和元年度実施日及び参加者

○1回目 2019.7.20～7.21

参加者数 4 名
主催者側 ガイド(船頭・同行者含む) 4 名
※同行者:川端さん

○2回目 2019.7.26～7.27

参加者数 13 名(ほか添乗員 1 名、撮影・取材 4 名)
主催者側 ガイド(船頭・同行者含む) 6 名
※同行者:川端さん、鈴木さん

○3回目 2019.7.30～7.31

参加者数 3 名(ほか撮影・取材 2 名)
主催者側 ガイド(船頭・同行者含む) 6 名
※同行者:川端さん、鈴木さん

- 実施回数計 3 回 参加者数 20 名(ほか添乗員 1 名)、取材関係者 6 名

1-2 ツアー内容

【～知床岬の歴史は羅臼昆布にあり～ 知床岬399番地上陸ツアー】ツアー内容

(1)H30 年度・R 元年度実施時

【1日目】

時間	ツアー内容
13:00 集合	
13:00-14:00 頃	① 知床羅臼ビジターセンター 映像視聴、館内のジオラマや標本を使用し、知床及び知床岬先端部の利用についてガイドが解説する
14:00-15:00 頃	② 昆布についてのレクチャー 羅臼町内施設において、羅臼昆布の特徴や漁業の手法、製品化の過程について、ガイド及び漁業者解説により学習する
15:00-16:00 頃	③ 現代番屋見学 市街地地区にある番屋を見学し、乾燥小屋の仕様や番屋内部の温湿度管理の仕組み・機械化についてガイドが解説し学習する

【2日目】

時間	ツアー内容
7:30 集合	④ 船外機移動
8:00-11:00 頃	相泊港において、ガイドの紹介、赤岩地区までの航路、移動中の注意事項を説明。外来種持ち込み防止の取組について必要性を説明し、全員が靴裏洗浄。 知床の自然及び各地域の特徴、羅臼町で行われている様々な漁について解説しながらの移動。天然昆布漁、養殖昆布漁、小定置網漁など現場を見学しながら解説。 ⑤ 赤岩地区最古の長谷川番屋見学 赤岩上陸後、地域の特性を再度説明。赤岩で現在移り住んで昆布漁をしている番屋について紹介。行動・携帯トイレ・ヒグマ対策について注意事項を説明・実演し、礫浜を1列になって移動。赤岩地区の植生・昔の写真を用いて浜の形状の変化について学習。長谷川番屋前にて当時の昆布漁について解説。長谷川番屋内では、登録ガイドが当時の暮らしや苦勞・楽しみなどを語る。
11:30 頃	⑥ アンケート記入後、解散

(2)令和3年度 実施日程変更後 新型コロナウイルス感染拡大の為催行なし

【1日目】

時間	ツアー内容
7:30 集合	①船外機移動
8:00-11:00	相泊港において、ガイドの紹介、赤岩地区までの航路、移動中の注意事項を説明。外来種持ち込み防止の取組について必要性を説明し、全員が靴裏洗浄。 知床の自然及び各地域の特徴、羅臼町で行われている様々な漁について解説しながらの移動。天然昆布漁、養殖昆布漁、小定置網漁など現場を見学しながら解説。 ②赤岩地区最古の長谷川番屋見学 赤岩上陸後、地域の特性を再度説明。赤岩で現在移り住んで昆布漁をしている番屋について紹介。行動・携帯トイレ・ヒグマ対策について注意事項を説明・実演し、礫浜を1列になって移動。赤岩地区の植生・昔の写真を用いて浜の形状の変化について学習。長谷川番屋前にて当時の昆布漁について解説。長谷川番屋内では、登録ガイドが当時の暮らしや苦勞・楽しみなどを語る。
11:30-12:30	③現代番屋見学 市街地地区にある番屋を見学し、乾燥小屋の仕様や番屋内部の温湿度管理の仕組み・機械化についてガイドが解説し学習する
13:00-14:00	昼食
14:30 頃	昆布倉庫見学 ※コロナの影響で変更有り
15:00-16:00	⑤知床羅臼ビジターセンター 映像視聴、館内のジオラマや標本を使用し、知床及び知床岬先端部の利用についてガイドが解説する ⑥昆布についてのレクチャー 羅臼町内施設において、羅臼昆布の特徴や漁業の手法、製品化の過程について、ガイド及び漁業者解説により学習する
16:00 頃	アンケート記入後 解散

1-3 アンケート結果

利用者のアンケート(別紙①)

1-4 事業収支

ツアー1回にかかる経費		
	内容	価格
①ガイド料	メインガイド・サポートガイド・登録ガイド	23750
②使用料	昆布番屋謝礼・施設利用料・船舶利用料	28220
③需用費	携帯トイレ・昆布スूपなど	10000
④燃料費	ガソリン代	16000
⑤通信費	衛星携帯電話基本使用料	5000
	合計	82970
③その他(初期費用)	内容	価格
H27	衛星電話ほか	100000
	合計	

【課題整理と今後】

平成30年～令和2年まではツアー行程を2日間として募集、実施を行ったが、旅行会社や一般客からは、このツアーに参加するために半日ずつ2日間に分けると、町内の他のアクティビティが体験できないとのご意見が多くあった為、内容は変更せず、令和3年より行程を1日に変更して実施することとした。募集人数に達し、ツアー催行になるために、令和3年においては行程を2日から1日に変更し募集を行った。

令和2年、3年においては、新型コロナウイルス感染防止の観点より募集を中止することになった。収支については、小型船の利用の他、先端部地区番屋ガイド、組合昆布倉庫見学など地域の人との関りが大きな役目を果たし、雇用にも繋がった。しかし、催行人数が少人数だと収支が難しく課題が残った。

今後については、過去2年間は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点よりツアーが実施できなかったため、3年間延長し、これらの課題について取り組みたい。また、歴史や文化を学ぶツアーを展開する旅行会社へのプロモーションを引き続き強化する。

【赤岩ツアー条件とその整理】

番号	条件	評価:内容
1	当該ツアーに対する地域内(羅臼町民)の合意形成を図ること。特に一般羅臼町民と意見交換して判断材料とすること	・町民向けモニターツアーの実施 ・知床キッズとの連携検討(予算面で実施はできなかった)
2	経営的な持続可能性を示すこと。現実在即した計画(経営上の試算結果等)	・2 日間の行程では集客が難しかった ・H30 年、R 元年度の実施形態では経営が難しかった
3	1 回 20 名、最大 30 日という人数制限を継続すること	・H30 年度 1 日最大 16 名 実施日数 8 日 ・R 元年度 1 日最大 13 名 実施日数 3 日
4	モニタリング(植生状況、トレッカーアンケート)を継続すること。特に先端部の先行利用者であるトレッカーの意見を集めること	別紙②参照
5	原生自然と文化をセットとしたセールス及びツアーのブランド化を行うこと	・ツアー内容について、昆布を中心として文化、自然を広く伝えた
6	5 年間の期限付きとする。先進的なツアーであるが、5 年間で先端部の利用について合意形成や環境整備を図ることが条件であり、5 年後にツアー催行結果や合意形成状況も加味して再度ツアーの是非を検討する	・H29 年 ツアー準備 ・H30 年 R 元年 ツアー実施 ・R2 年 R3 年 新型コロナウイルス感染拡大の観点より中止 R2 年に実施されていた、ツアーを 1 日にして募集を行い実施をすることができていない。令和 3 年度より設立された知床羅臼ヒグマボートクルーズ船協議会と連携を図り、1 回 20 名、最大 30 日のルールの中で、3 年間の延長をお願いしたい。

平成30年度 知床岬399番地上陸ツアー 実施報告とアンケート結果

知床羅臼町観光協会

(1) 実施日及び参加者

○1回目 7.23～7.24

参加者数 13名(ほか添乗員1名)

主催者側 ガイド(船頭含む)6名

○2回目 7.24～7.25

参加者数 7名(ほか添乗員1名)、町民参加者1名、関係者1名、

主催者側 ガイド(船頭含む)3名

○3回目 7.27～7.28

参加者数 3名、町民参加者、関係者2名

主催者側 ガイド(船頭含む)3名

○4回目 7.28～7.29

参加者数 16名(添乗員1名)、町民参加者1名、関係者1名、

主催者側 ガイド(船頭含む)4名

○5回目 7.29～7.30

参加者数 9名

主催者側 ガイド(船頭含む)2名

○6回目 7.31～8.1

参加者数 14名(添乗員1名)、関係者2名、

主催者側 ガイド(船頭含む)4名

○7回目 8.5～8.6

参加者数 4名(添乗員1名)、関係者3名、

主催者側 ガイド(船頭含む)4名

○8回目 8.13～8.14

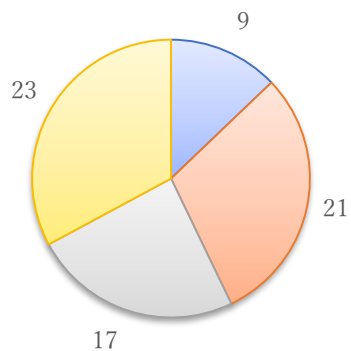
参加者数 2名、関係者2名、

主催者側 ガイド(船頭含む)4名

●実施回数計8回 参加者数68名(ほか添乗員5名)、町民参加者2名、
関係者参加者11名

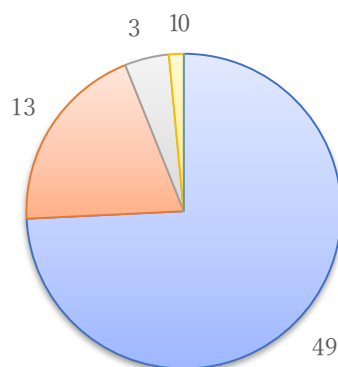
(2)アンケート調査について 回答者 71名 複数回答あり

Q1:このツアーになぜ参加しようと思いましたか？



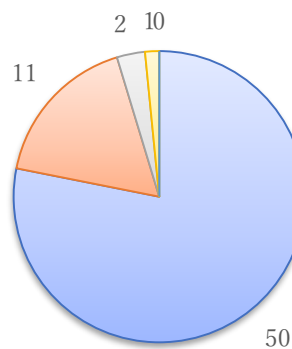
- 1. 羅臼昆布の歴史について知りたかった ■ 2. 知床についてじっくり学びたかった
 ■ 3. 赤岩地区の番屋を見てみたかった ■ 4. 赤岩地区に上陸したかった

Q2：羅臼地区 羅臼ビジターセンター



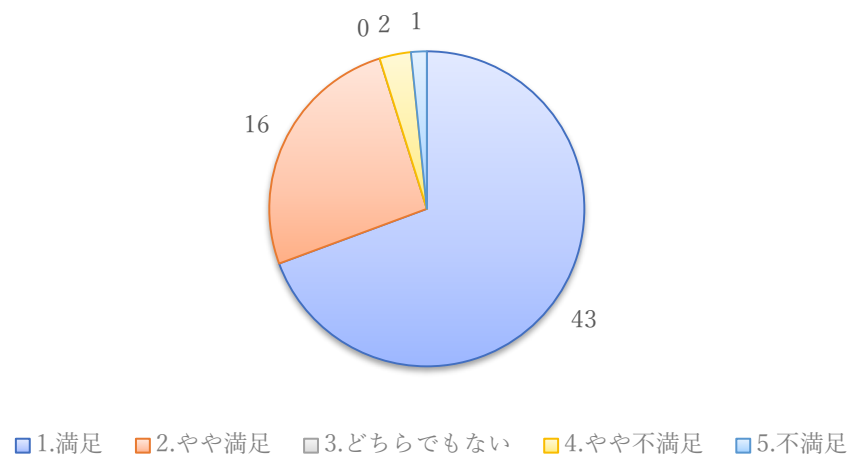
- 1. 満足 ■ 2. やや満足 ■ 3. どちらでもない ■ 4. やや不満足 ■ 5. 不満足

Q3:羅臼地区 昆布のレクチャーの満足度

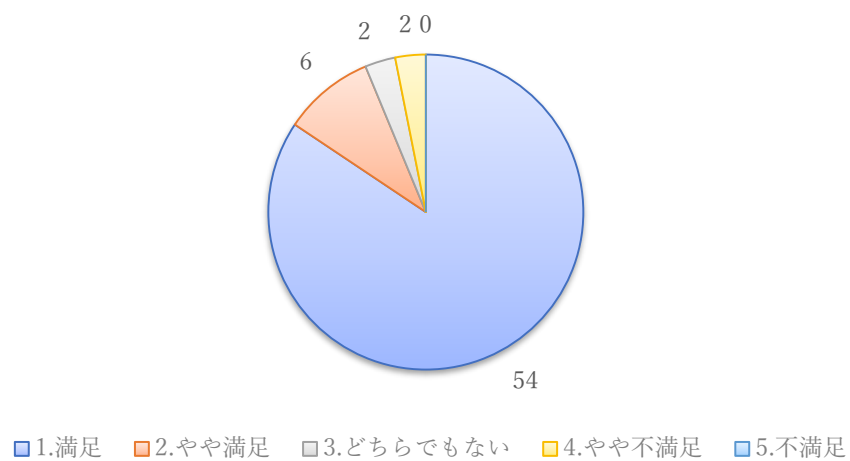


- 1. 満足 ■ 2. やや満足 ■ 3. どちらでもない ■ 4. やや不満足 ■ 5. 不満足

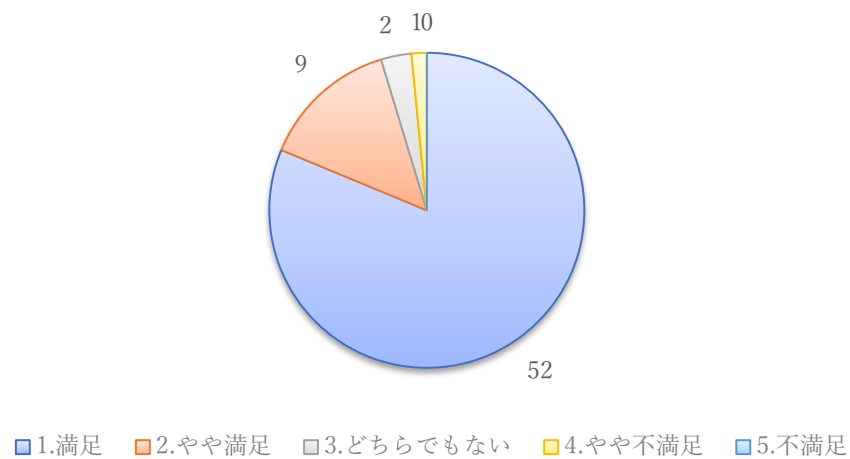
Q4:羅臼地区 昆布番屋見学の満足度



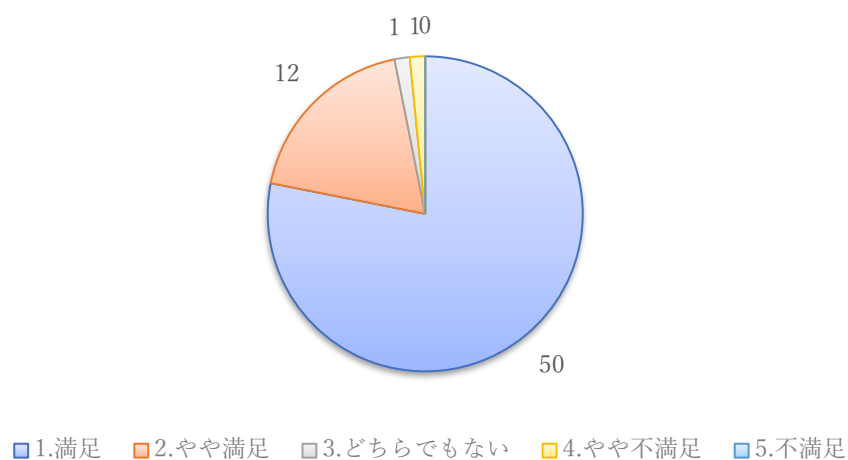
Q5:船外機での移動



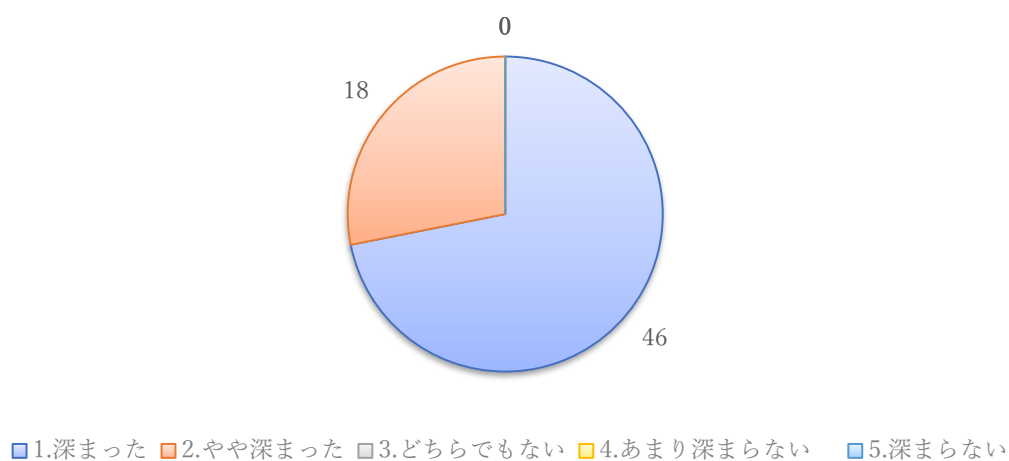
Q6:知床岬 399番地に上陸 長谷川番屋見学



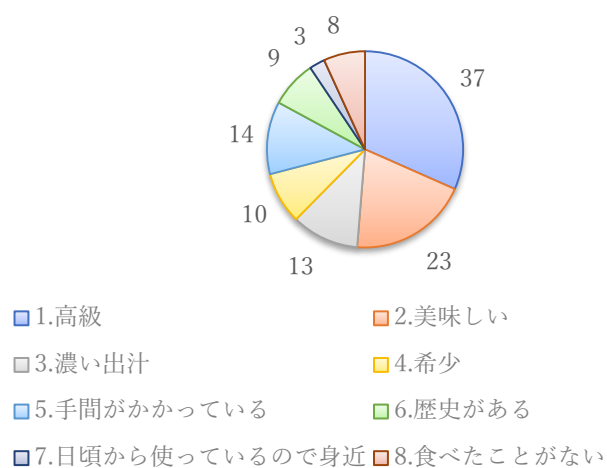
Q7:ツアー全体の満足度



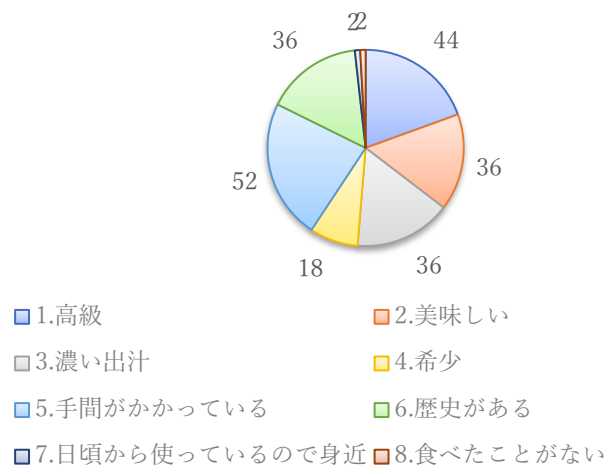
Q8:羅臼昆布への関心



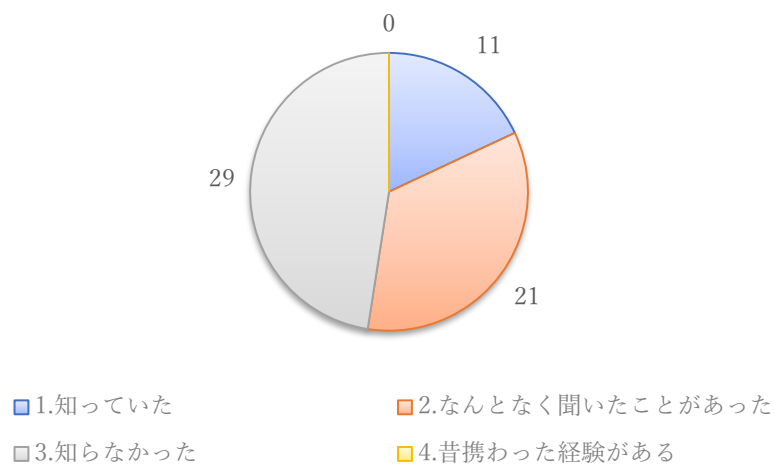
Q9:ツアーに参加する前の羅臼昆布のイメージ



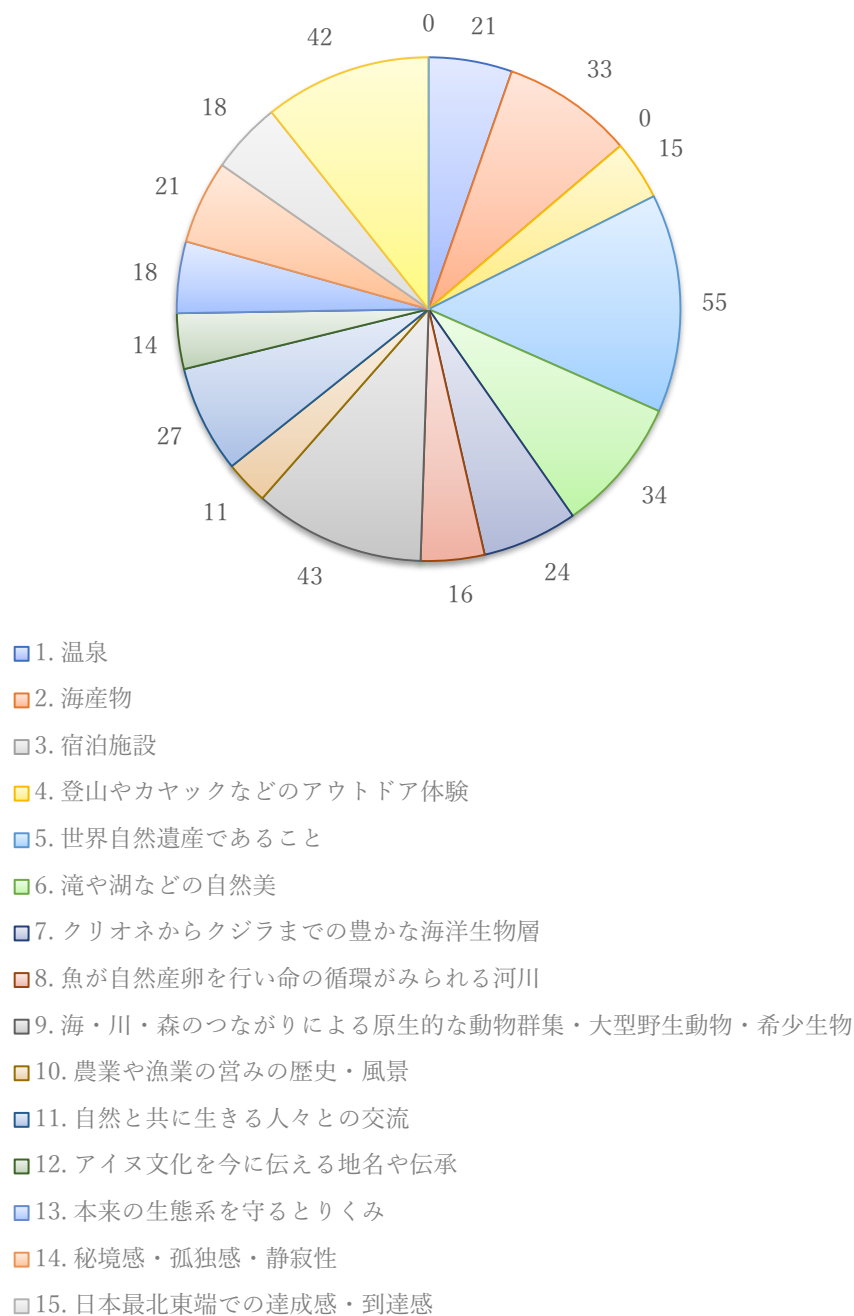
Q10: ツアーに参加した後の羅臼昆布のイメージ



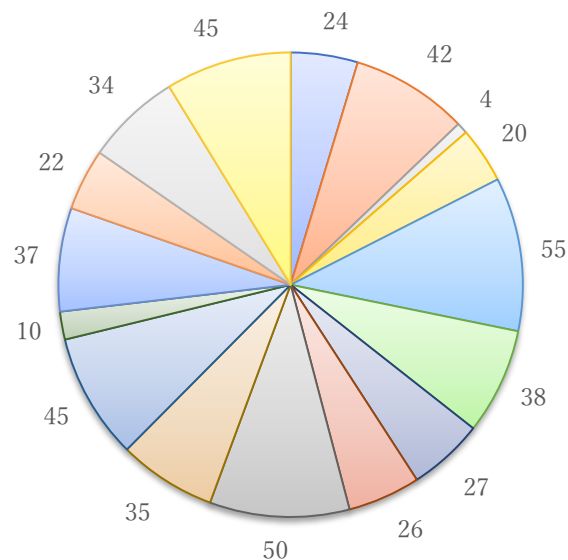
Q11: 昔から羅臼昆布漁が営まれていたこと



Q12:ツアーに参加する前、あなたが 「知床の価値」だとおもっていたこと

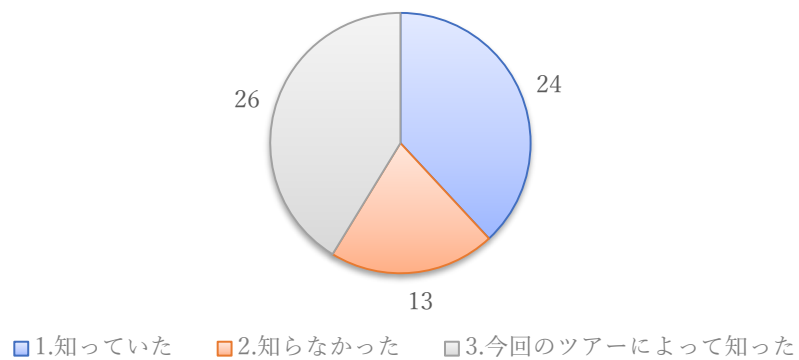


Q13:ツアーに参加した後、あなたが「知床の価値」 だと思うこと

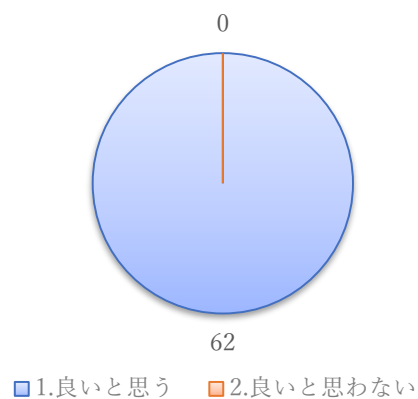


- 1. 温泉
- 2. 海産物
- 3. 宿泊施設
- 4. 登山やカヤックなどのアウトドア体験
- 5. 世界自然遺産であること
- 6. 滝や湖などの自然美
- 7. クリオネからクジラまでの豊かな海洋生物層
- 8. 魚が自然産卵を行い命の循環がみられる河川
- 9. 海・川・森のつながりによる原生的な動物群集・大型野生動物・希少生物
- 10. 農業や漁業の営みの歴史・風景
- 11. 自然と共に生きる人々との交流
- 12. アイヌ文化を今に伝える地名や伝承
- 13. 本来の生態系を守るとりくみ
- 14. 秘境感・孤独感・静寂性
- 15. 日本最北東端での達成感・到達感

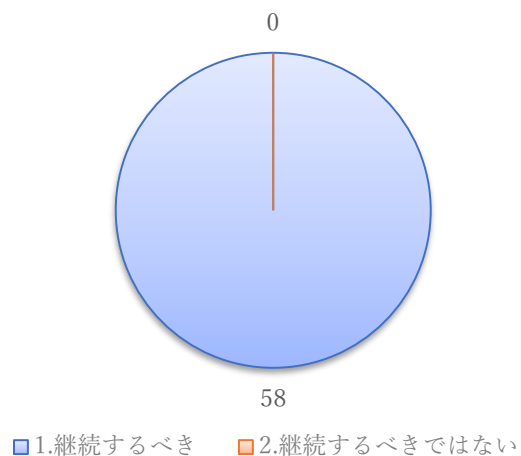
Q 1 4 知床岬地区利用規制指導に関する申し合わせ
を知っていますか



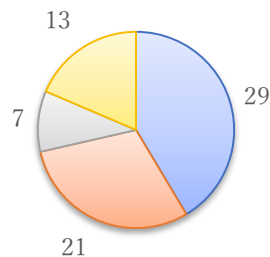
Q15: 今回のツアーを羅臼昆布漁の歴史・文化を伝える
ために実施



Q16: 今後このツアーを継続することについて

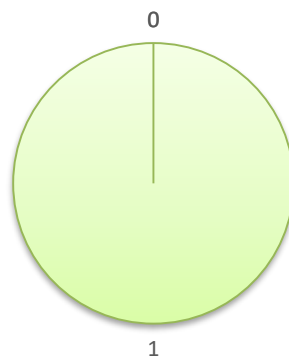


Q17:Q16で継続すべきと答えたその理由



- 1.羅臼昆布の産業文化・歴史を伝承すべき
- 2.自然との共生の文化歴史を伝承した方が良い
- 3.羅臼昆布の事がより深く理解されるから
- 4.知床の本来の姿を理解されるから

Q18:Q16で伝承すべきではないと答えたその理由



- 1.あえて先端部に行かなくても良い
- 2.先端部の秘境のイメージが崩れるから
- 3.上陸によって自然に影響を及ぼすから

Q19: このツアーで良かった点

- ・ スタッフの方々、漁師さん、ツアーに関わった皆さんが知床・羅臼を愛し誇りに思っていること。課題を認識して、それを解決し、将来に継承しようとしていること、その努力、現実を知ることができた。
- ・ 先端までの距離、船上で漁師さんの思いを考えたり、ヒグマの様子をみながら自分が大自然の1部という感じがしました。昆布のこと、留守の産業文化の歴史を学べて本当によかったです。
- ・ 知床ならではの環境と文化によって育まれた生活の深みにふれられた点。
自然と文化、動物と人間のかかわりをよく分かりました！
- ・ スタッフの方々、漁師さん、ツアーに関わった皆さんが知床・羅臼を愛し誇りに思っていること。課題を認識して、それを解決し、将来に継承しようとしていること、その努力、現実を知ることができた。

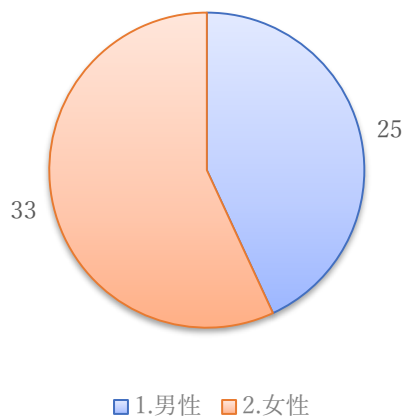
Q20:このツアーで悪かった点・改善点

- ・道の駅集合～解散までの二次交通（送迎）があった方が良い
- ・船に乗る時レンタル服がある事知らなかった。知っていれば心配しなくてもいいし荷物も少なくてすんだ。

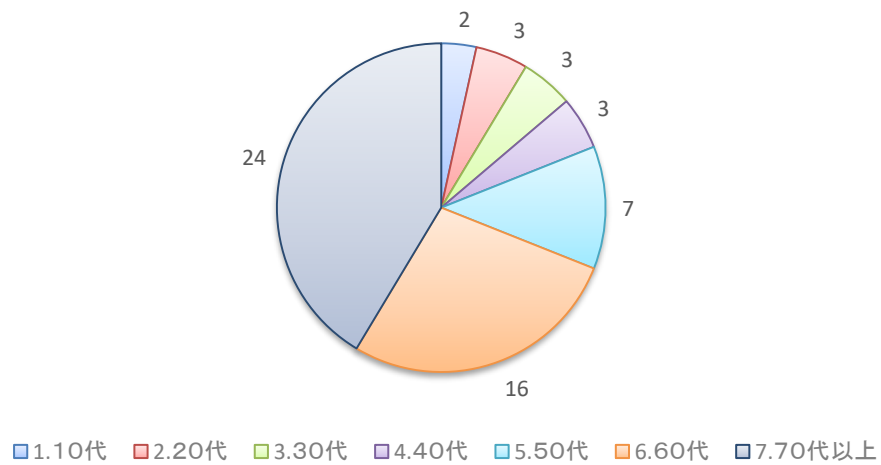
Q21: 知床岬 399 番地上陸ツアーについて率直な感想

- ・個人では上陸できない場所。番屋、先人の生活様式を見ることができた。良かった。
- ・普段体験できないことを体験させてもらえるすばらしいツアー。羅臼のことについて深く学ぶ事ができました。
- ・この歴史を多くの人々に知ってもらう為、今後も継続し続けて欲しい。
- ・気温の差にびっくり。現地に行かないとわからない。
- ・知床を知ってもらうとても良い企画だと思います。ぜひ今後も続けて頂ければと思います。（ご苦勞も多いと思いますが…）・一方、観光目的での入境がなし崩し的に増え、自然環境への悪影響が出ないように、留意頂きたいと感じました。

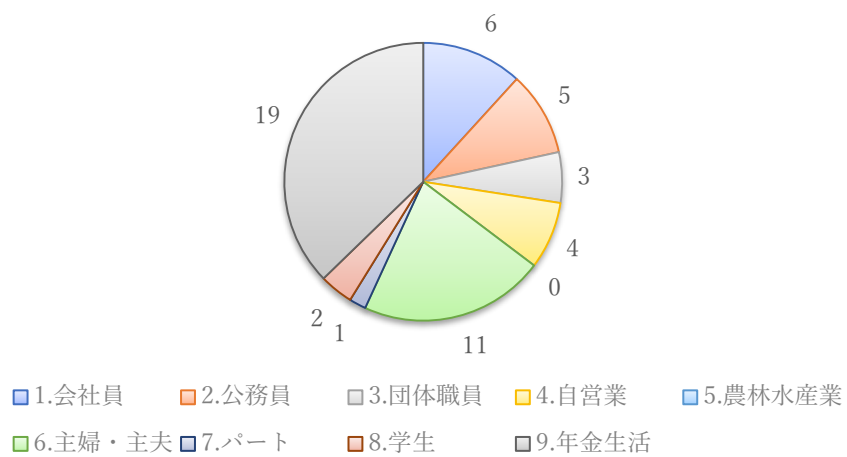
Q22:性別



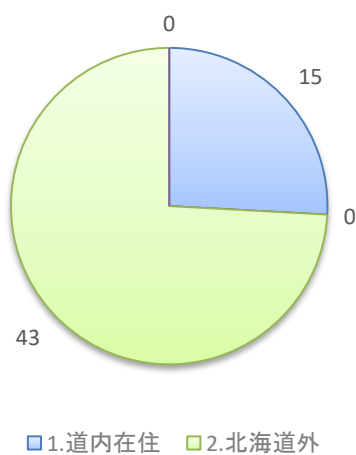
Q23:年齢



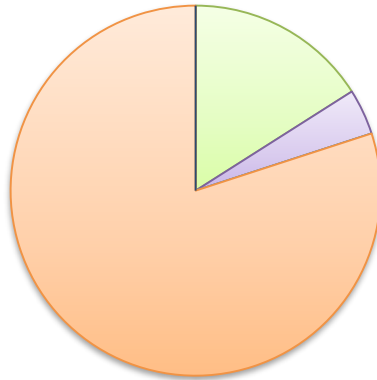
Q24:職業



Q25:居住地

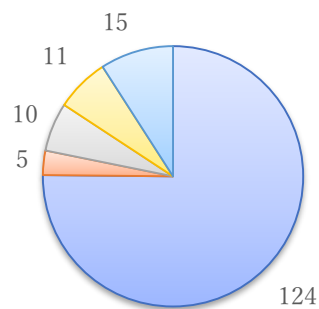


Q26:このツアーを何でしりましたか？



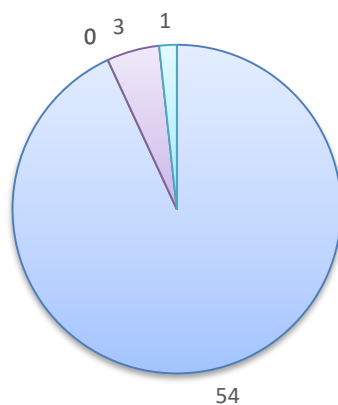
1.新聞 2.テレビ 3.インターネット 4.口コミ 5.ポスター 6.旅行会社 7.その他

Q27:知床（羅臼・ウトロ）に来たのは何回目ですか



5日目以上 4日目 3日目 2日目 1日目

Q28:昨日はどこに泊まりましたか



1.宿 1.宿() 2.車中 3.自宅 4.その他

令和元年度 知床岬399番地上陸ツアー 実施報告とアンケート結果

知床羅臼町観光協会

(1) 実施日及び参加者

○1回目 7.20～7.21

参加者数 4名

主催者側 ガイド(船頭・同行者含む) 4名

※同行者:川端さん

○2回目 7.26～7.27

参加者数 13名(ほか添乗員1名、撮影・取材4名)

主催者側 ガイド(船頭・同行者含む) 6名

※同行者:川端さん、鈴木さん

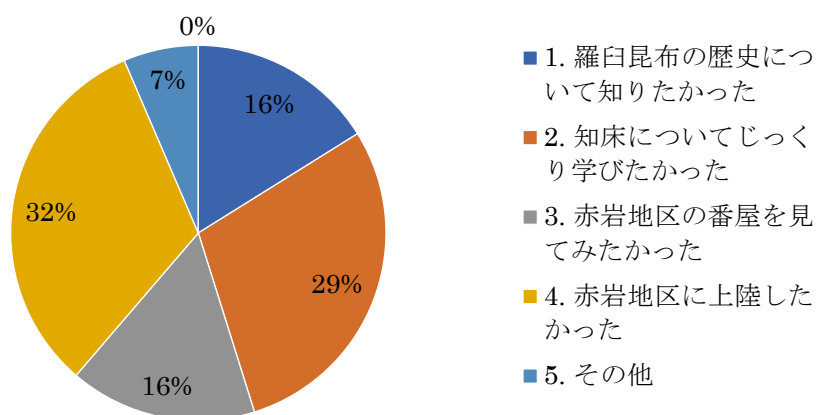
○3回目 7.30～7.31

参加者数 3名(ほか撮影・取材2名)

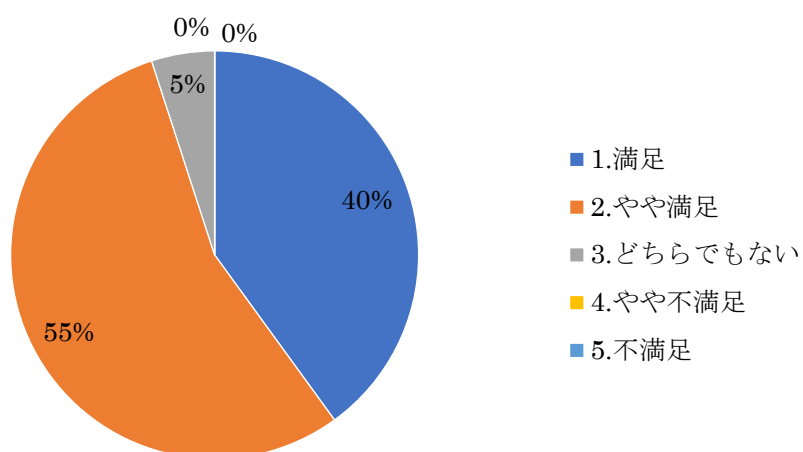
主催者側 ガイド(船頭・同行者含む) 6名

※同行者:川端さん、鈴木さん

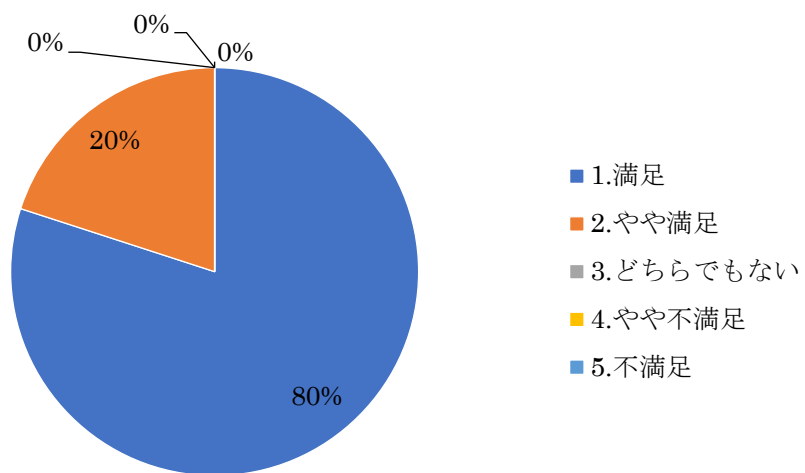
Q1 このツアーになぜ参加しようと思いましたか？



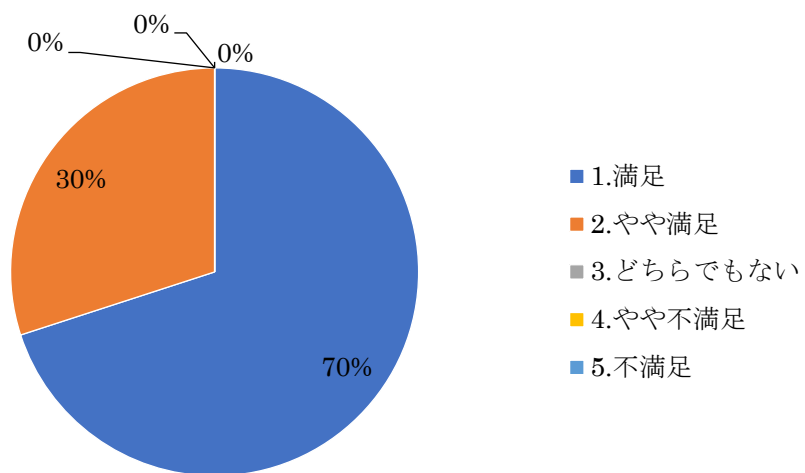
Q2 1日目の羅臼地区の羅臼ビジターセンターの満足度



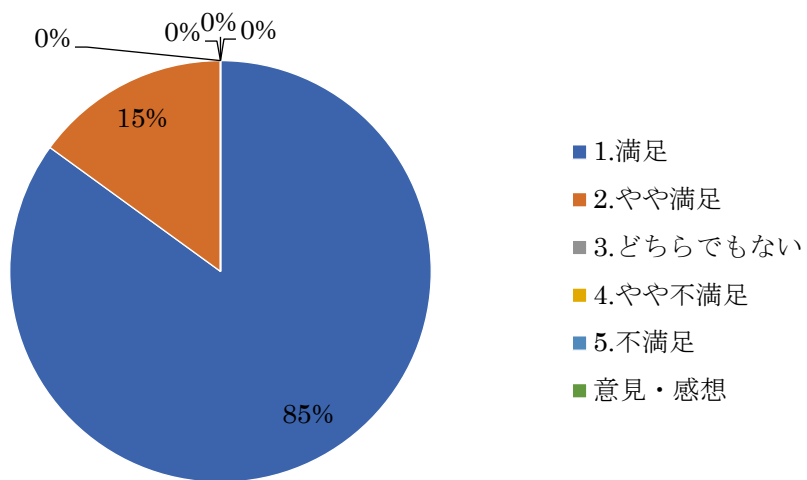
Q3 1日目の羅臼地区の昆布のレクチャーの満足度



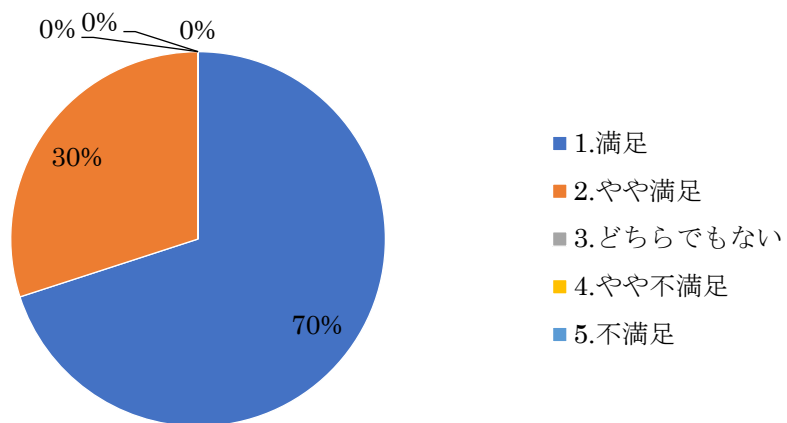
Q4 1日目の羅臼地区の羅臼昆布番屋見学の満足度

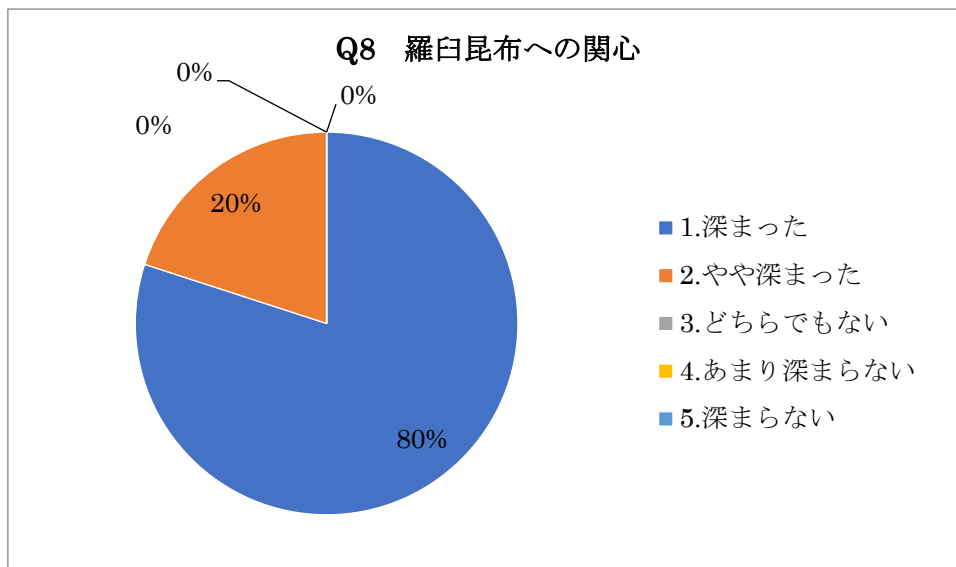
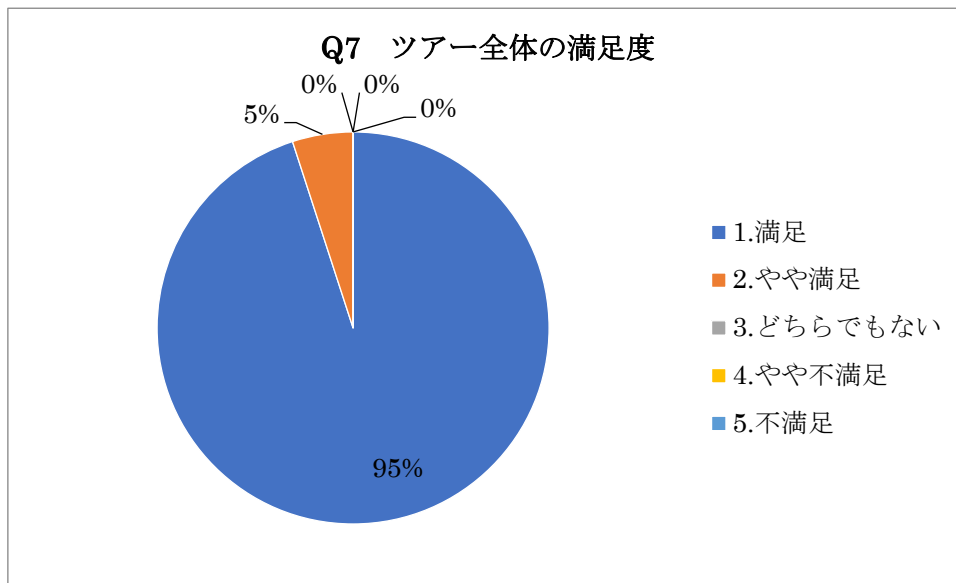


Q5 2日目の船外機船での移動（往復）の満足度

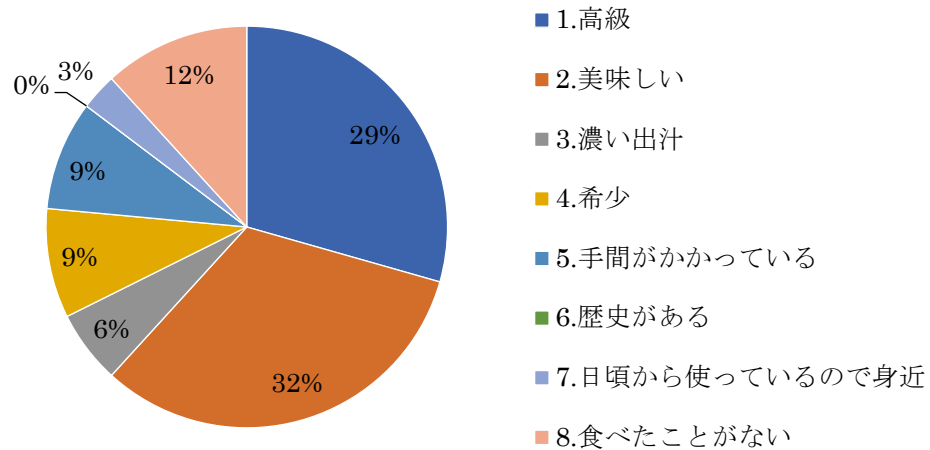


**Q6 2日目の知床岬399番地に上陸、
長谷川番屋見学の満足度**

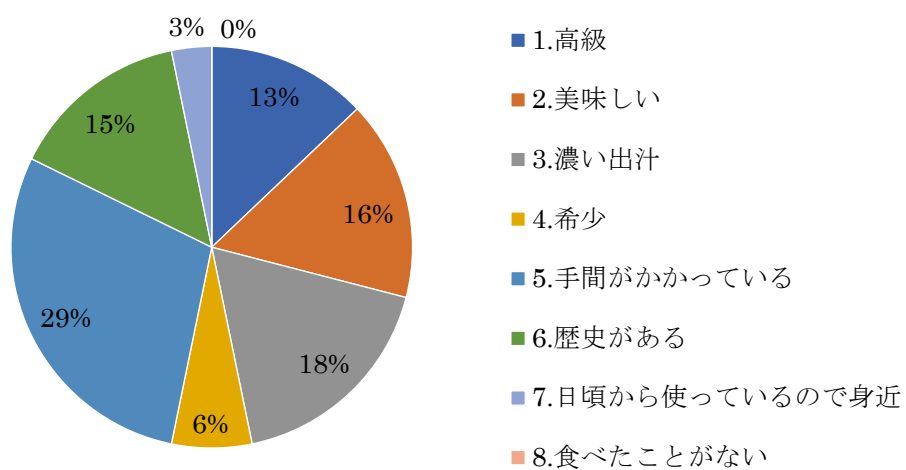




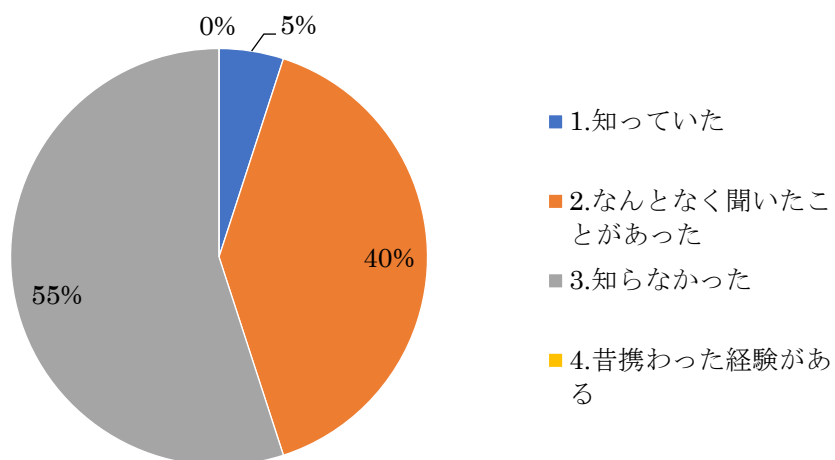
Q9 ツアーに参加する前の羅臼昆布のイメージ



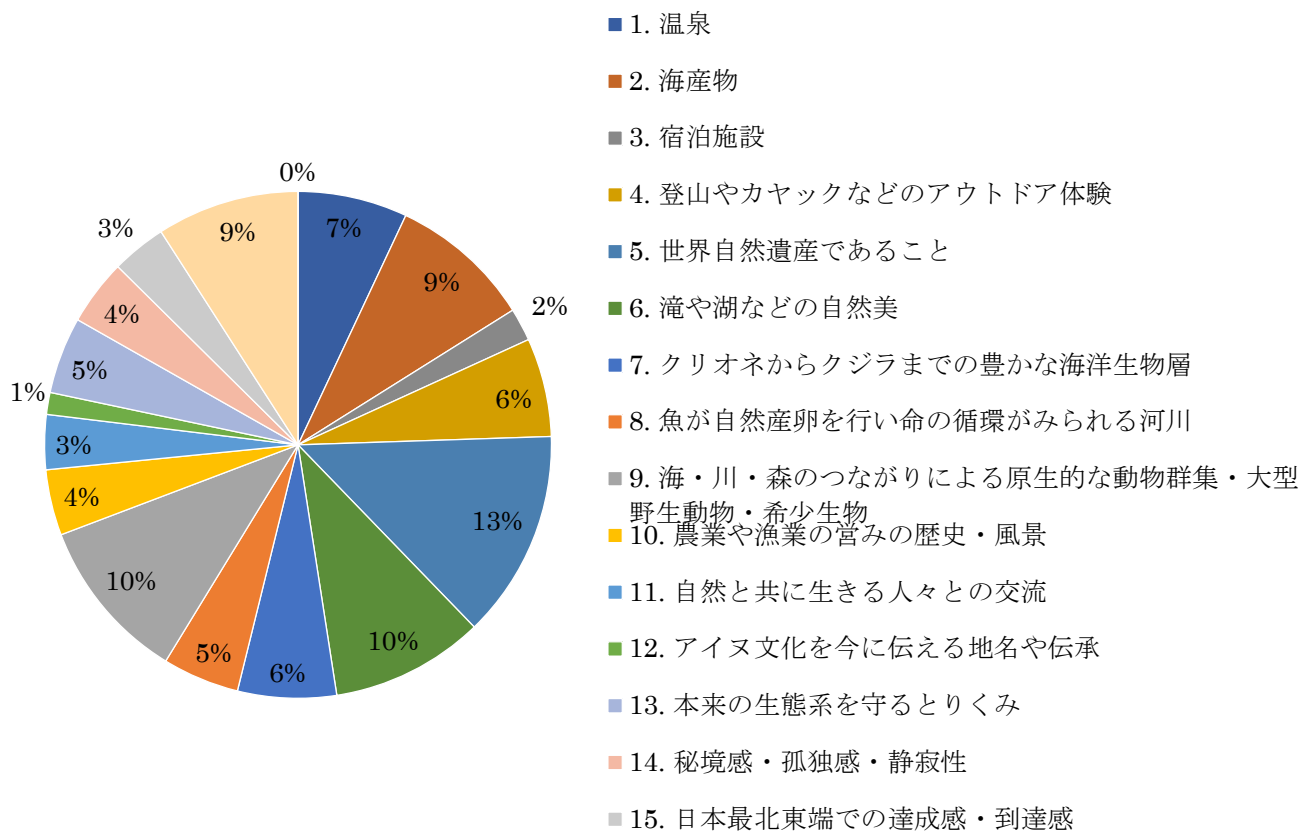
Q10 ツアーに参加した後の羅臼昆布のイメージ



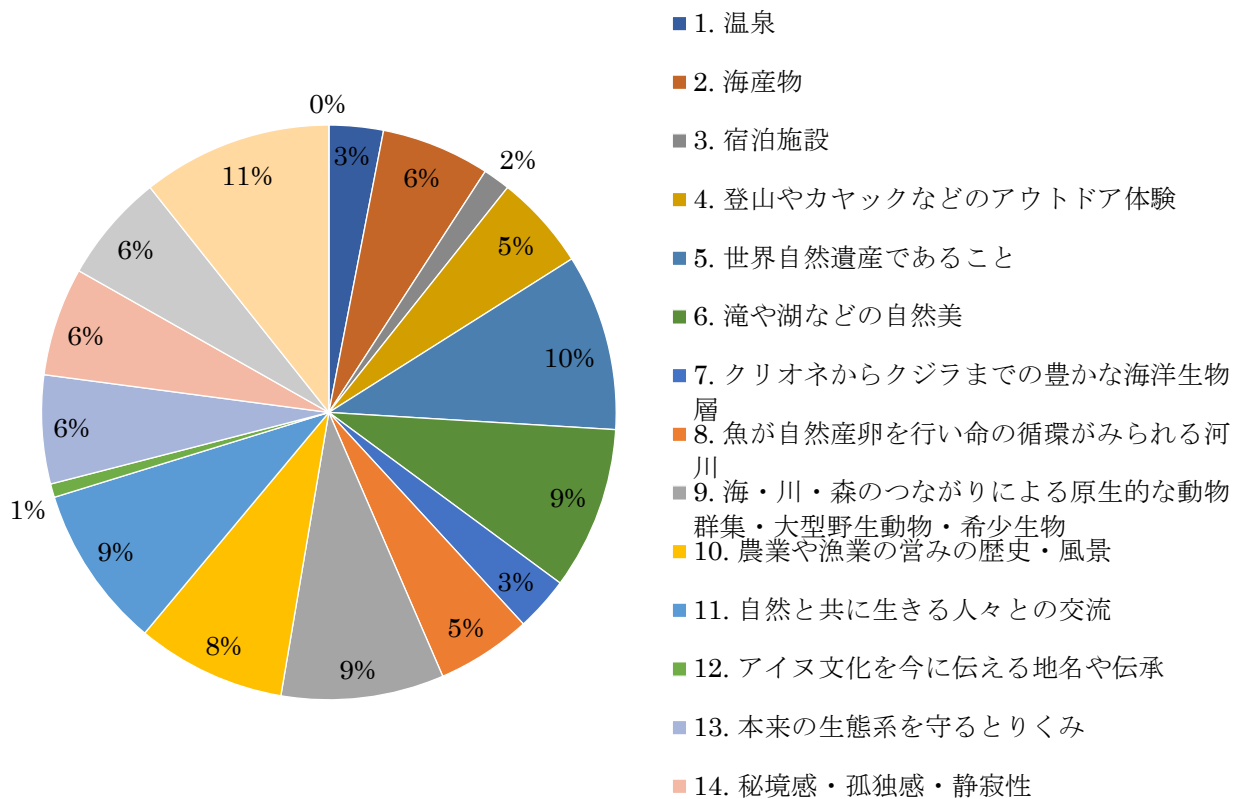
Q11 昔から羅臼昆布漁が営まれていたこと



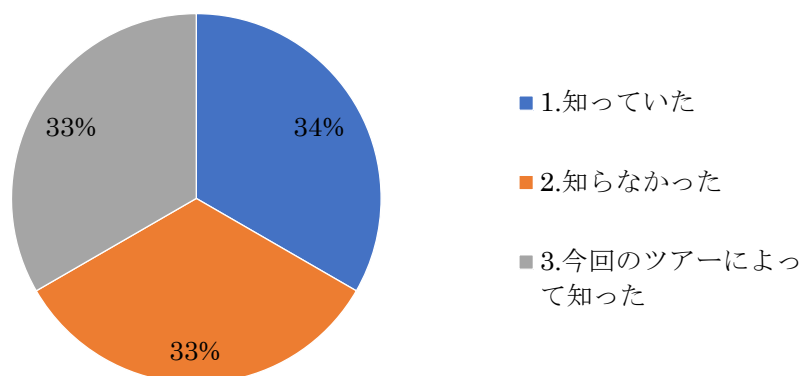
Q12 ツアーに参加する前、あなたが「知床の価値」だと思っていたこと



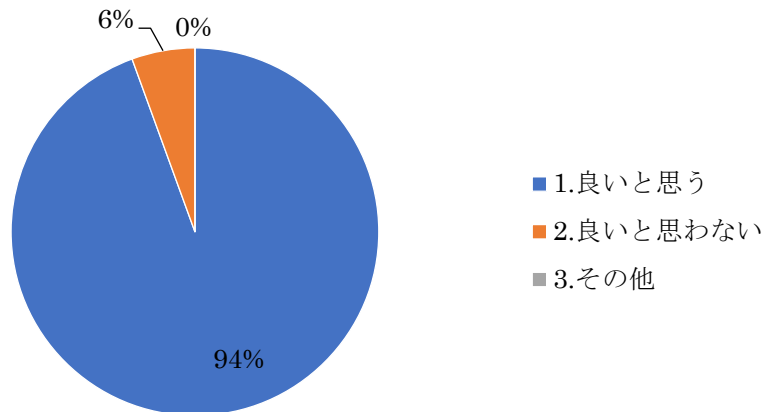
Q13 ツアーに参加した後、あなたが「知床の価値」だと思うこと



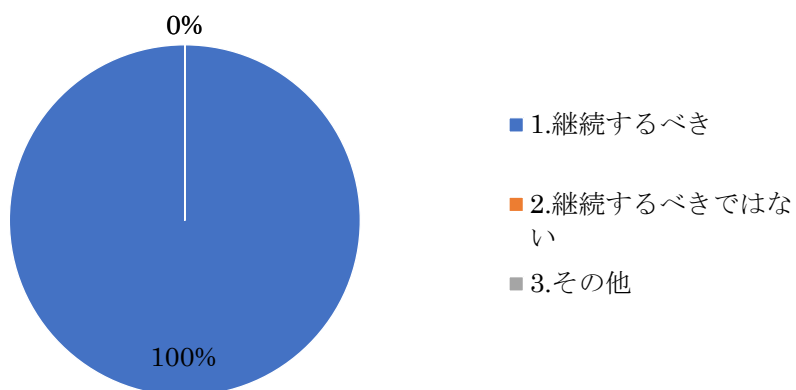
Q14 知床岬地区利用規制指導に関する申し合わせを知っていましたか？



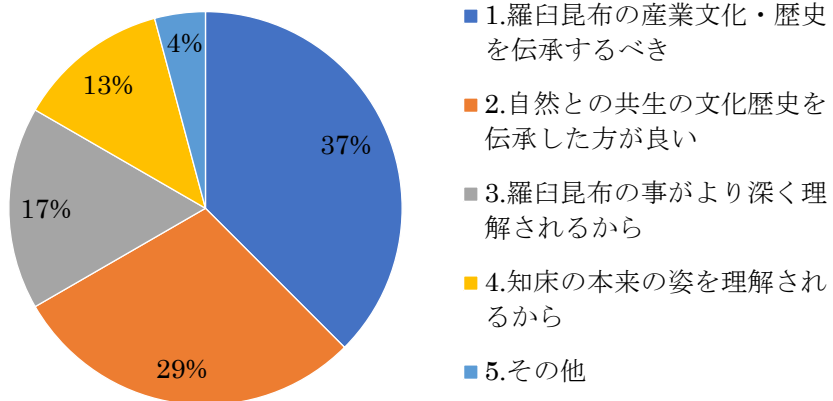
Q15 今回のツアーを羅臼昆布漁の歴史・文化を伝える
ために実施することについて



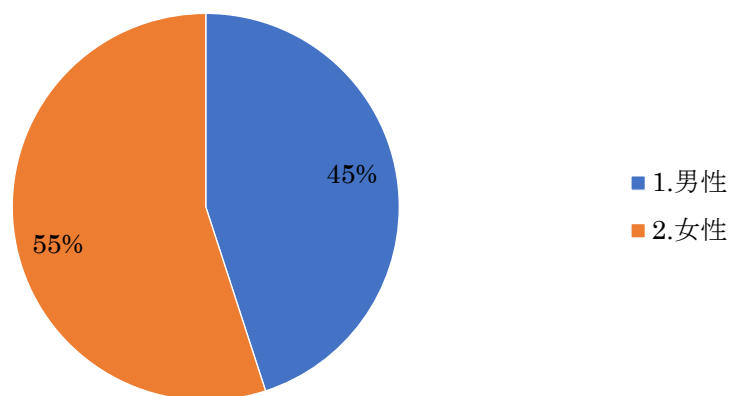
Q16 今回のツアーを今後このツアーを
継続することについて

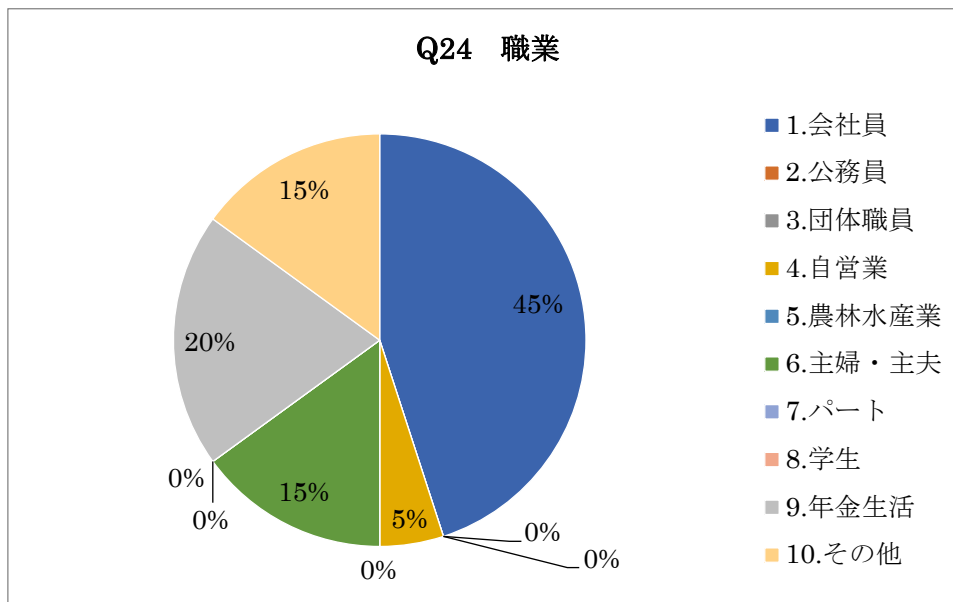
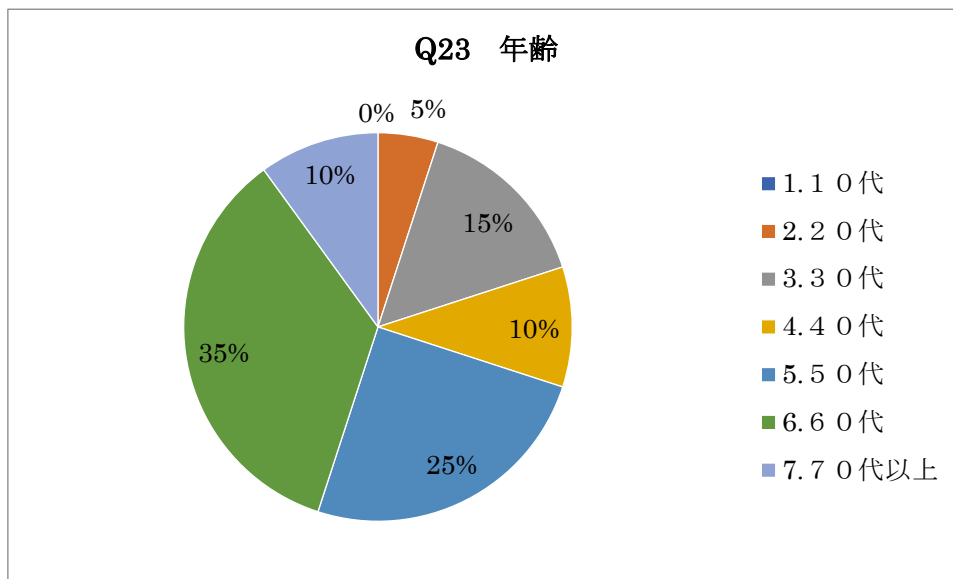


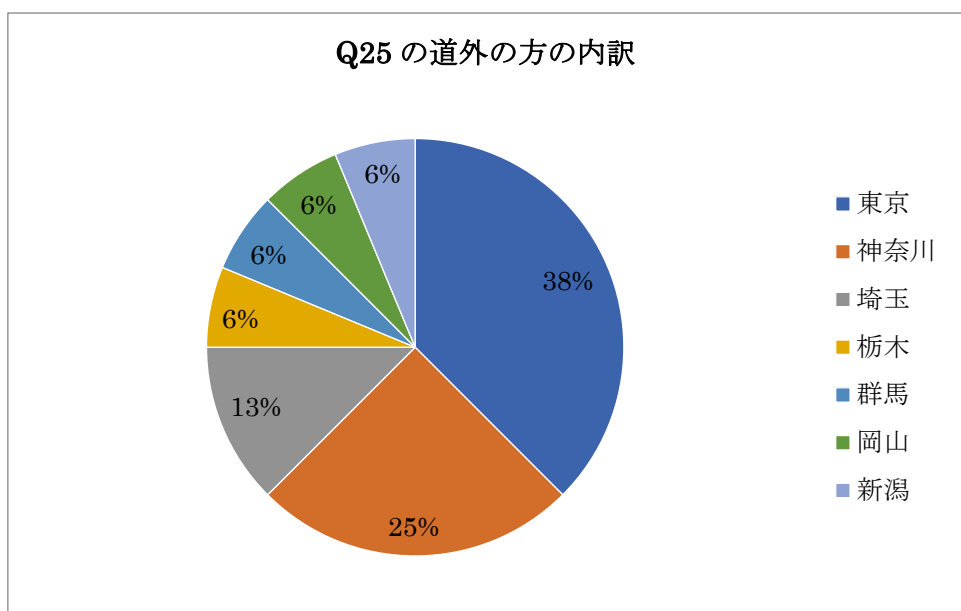
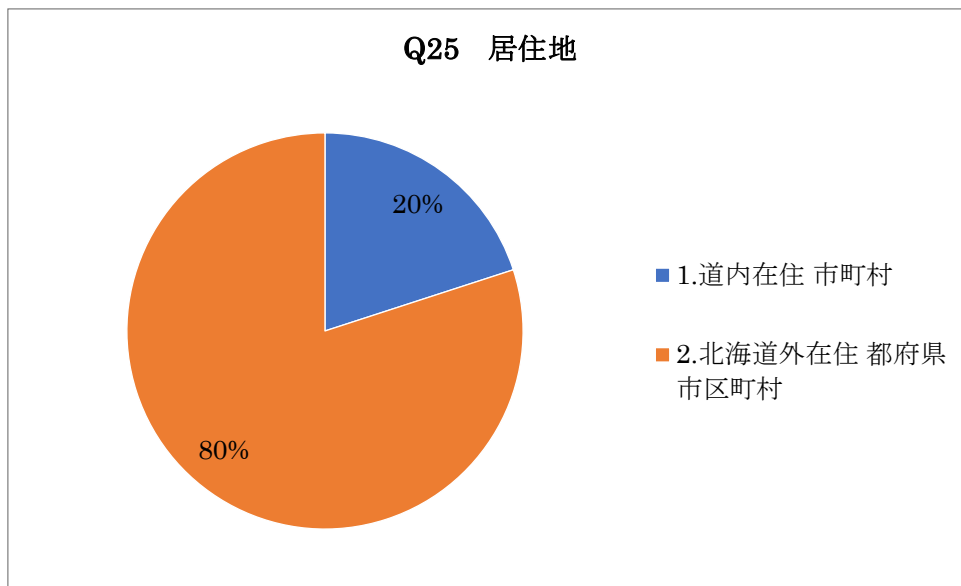
Q17 Q16で継続するべきと答えたその理由



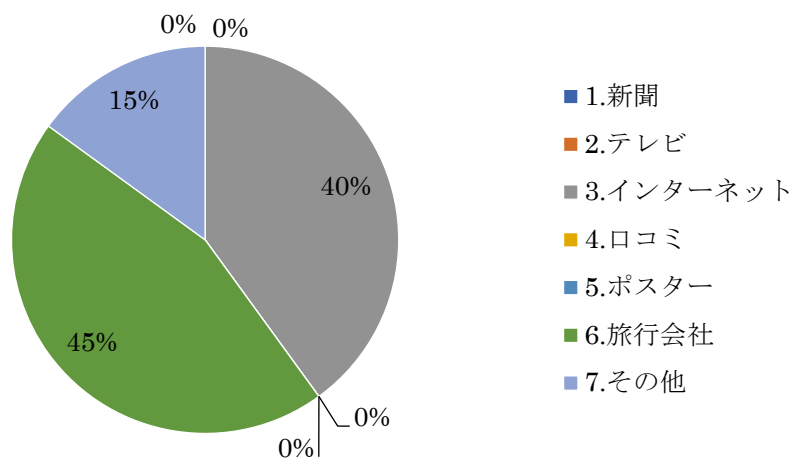
Q22 性別



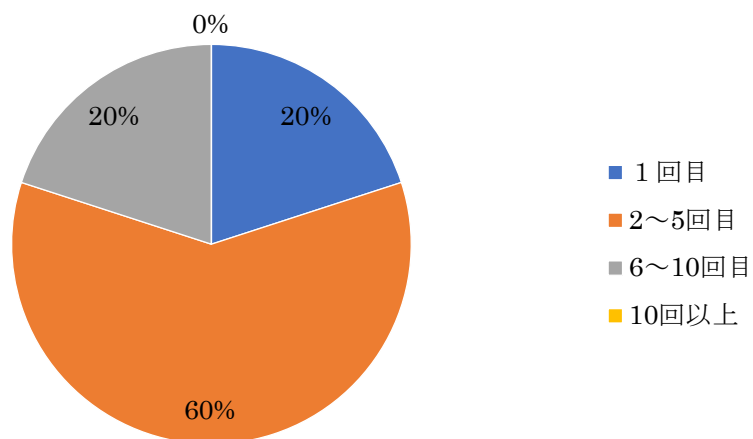


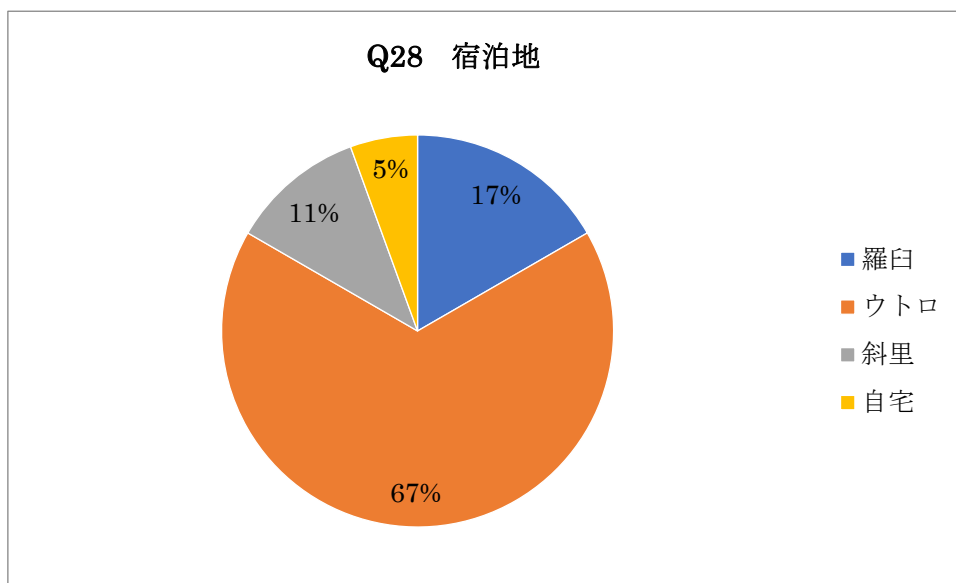


Q26 このツアーを何で知りましたか？



Q27 知床に来た回数





令和 3 年度
知床半島先端部地区の利用に関するアンケート
集計結果



令和 3 年 7 月 15 日～10 月 11 日

※内、5 月 15 日～6 月 20 日、8 月 24 日～9 月 30 日の間

ルサ FH 並びに VC は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

回収枚数：16 枚／人

環境省 羅臼自然保護官事務所

目次

■集計結果（⑩年齢・性別＋①～⑪アンケート項目）

⑩年齢・性別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2～3
①先端部のトレッキングでの利用は何回目ですか。・・・・・・・・	P. 3
②トレッキングの最終到着予定地を教えてください。・・・・・・・・	P. 4
③トレッキングの日程を教えてください。・・・・・・・・	P. 5
④トレッキングに来た目的を教えてください。・・・・・・・・	P. 6
⑤先端部地区のどのような所に魅力や価値を感じますか。・・・・・・・・	P. 7
⑥トレッキング前後の船の利用について教えてください。・・・・・・・・	P. 7
⑦あなたが利用したいと思う先端部地区の利用形態を教えてください。・・・・・・・・	P. 8
⑧レクリエーション目的で先端部地区を利用する人が守るべきルールや マナーを定めた「知床半島先端部地区利用の心得」をご存知ですか。	P. 9
⑨先端部地区を利用するにあたって、何で情報を得ましたか。・・・・・・・・	P. 10
⑩カブト岩の先にある赤岩地区に小型船で上陸し、活動範囲は同地区の 海岸線のみとした上で、同地区における当時の漁業活動の歴史等を学ぶ エコツアーが行われています。この取り組みについてご存知ですか。	P. 11
⑪先端部地区の利用に関するご意見等ございましたら、自由にご記入ください。・・・	P. 12

■集計結果（⑩年齢・性別＋①～⑪アンケート項目）

⑩年齢・性別

利用者の年齢について下記図1、2に、性別について次項の図3に集計結果を示す。

30代（37%）の利用者が多かった。次いで40代（25%）、20代50代60代の利用者数の割合に大きな差はなかった

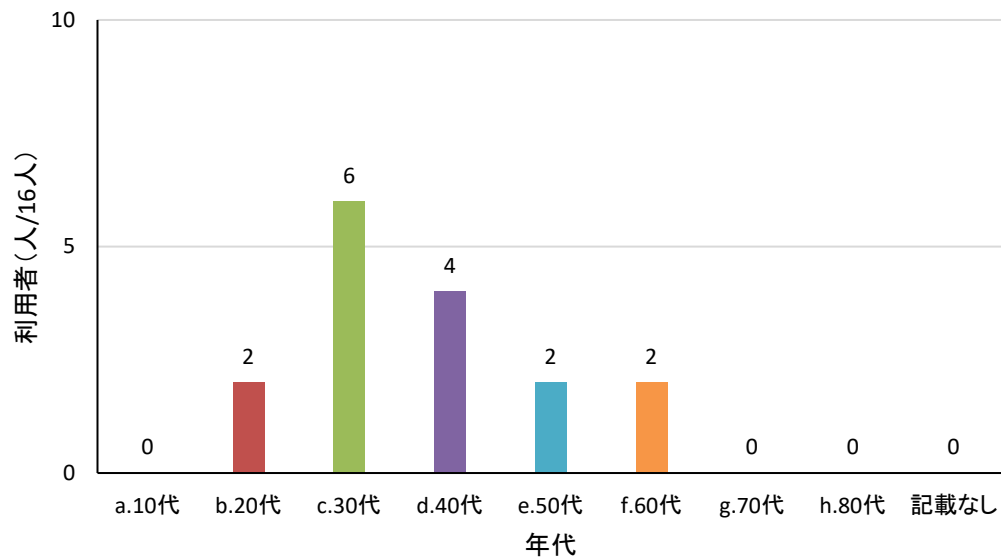


図1. 利用者の年齢集計結果

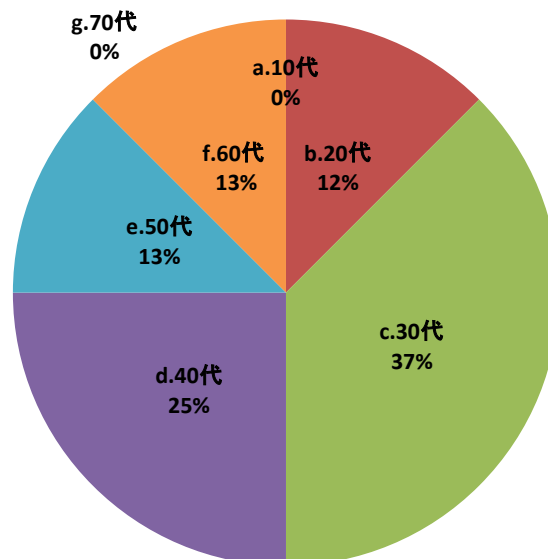


図2. 利用者の年齢割合

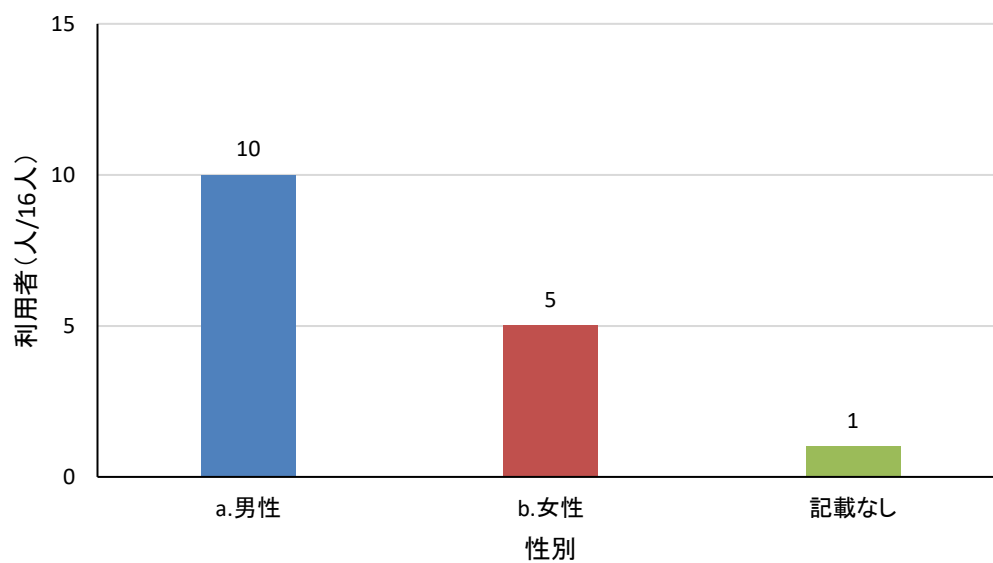


図 3. 利用者の性別集計結果

利用者全体の約 6 割が男性であった（記載なしを除く）。

①先端部のトレッキングでの利用は何回目ですか。

図 4 に集計結果を示す。

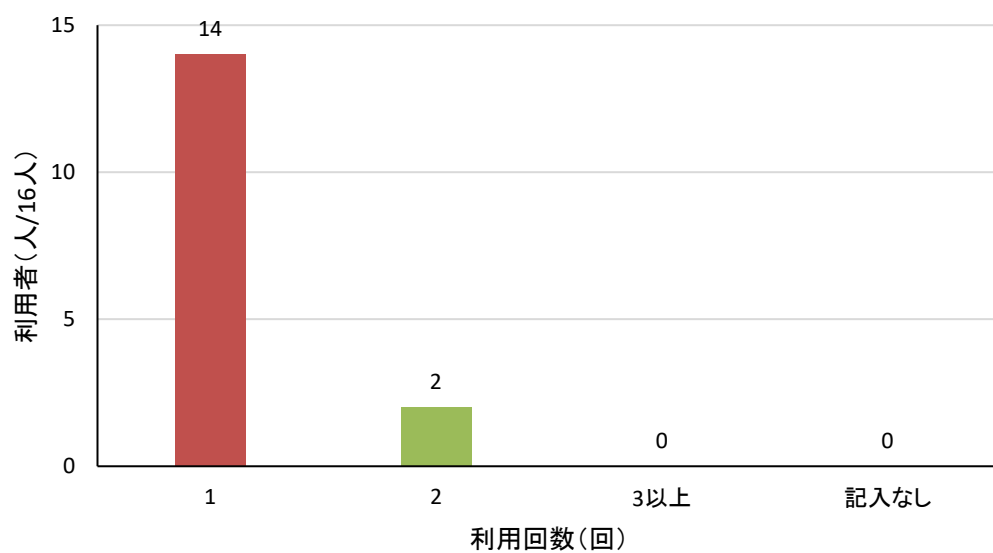


図 4. 利用回数集計結果

利用者全体の約 9 割が初めての利用であった。2 回目と回答した利用者 2 人はであった。

②トレッキングの最終到着予定地を教えてください。

図5、6に集計結果を示す。

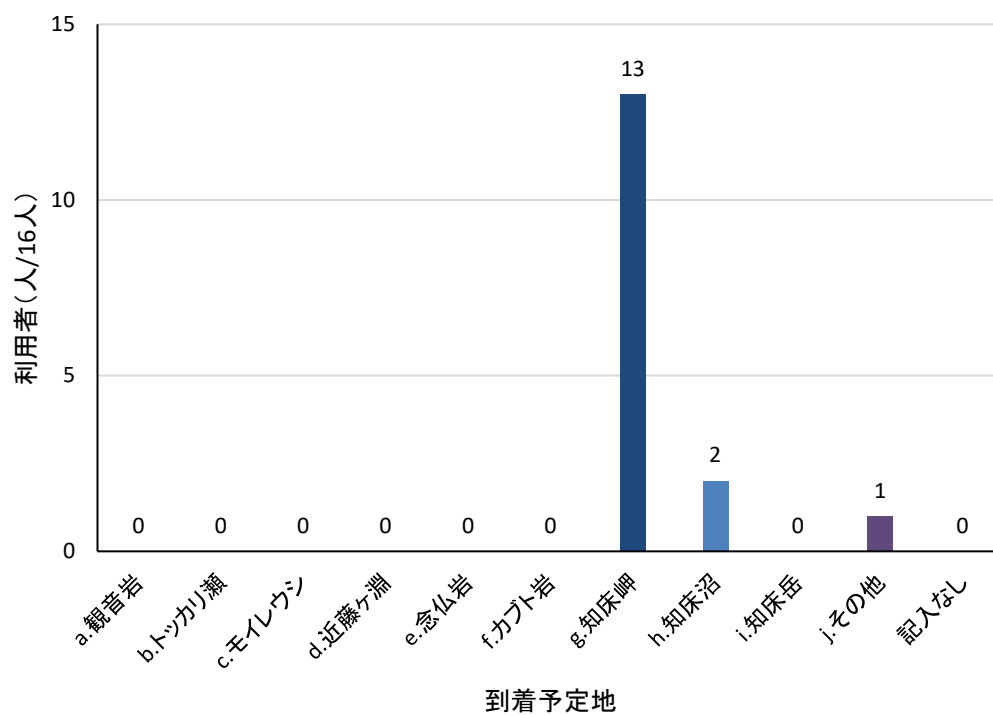


図5. 到着予定地集計結果

利用者全体の約8割が知床岬を目的地としていた。1回の利用で知床岬～知床岳を利用する人もいた。

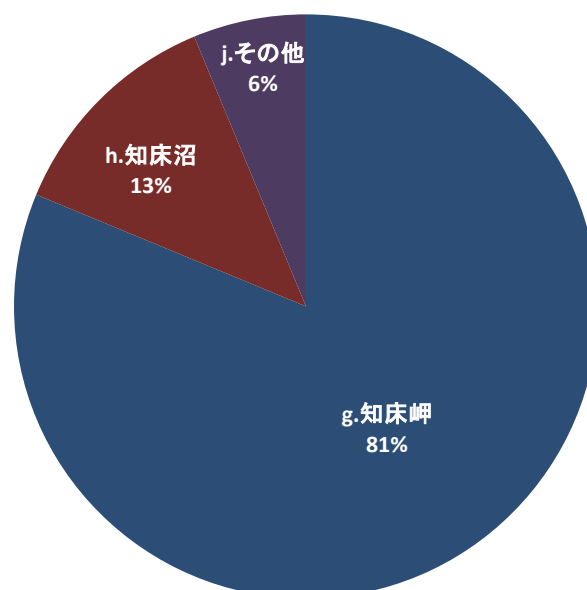


図6. 到着予定地割合

③トレッキングの日程を教えてください。

図7、8に集計結果を示す。

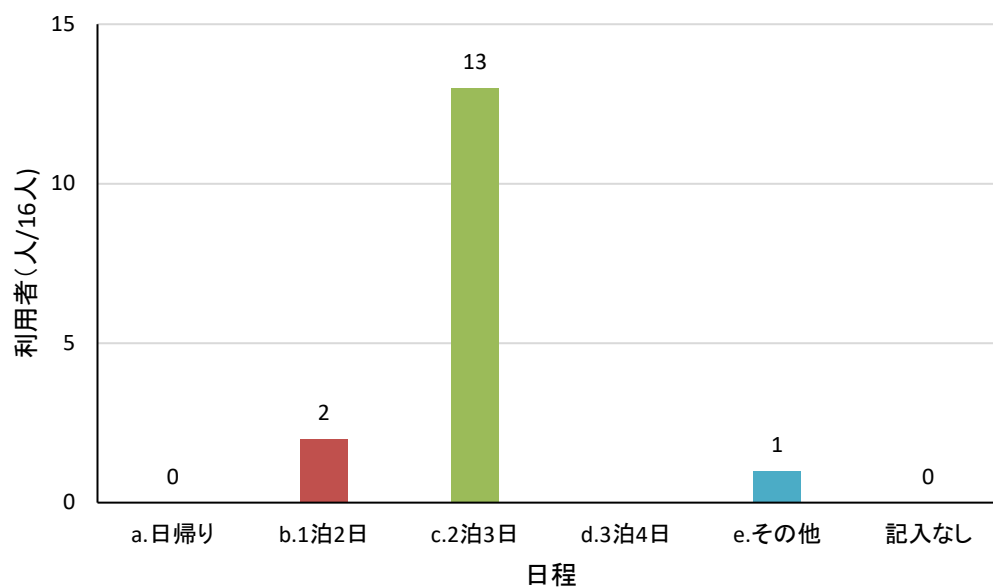


図7. 行程日数状況

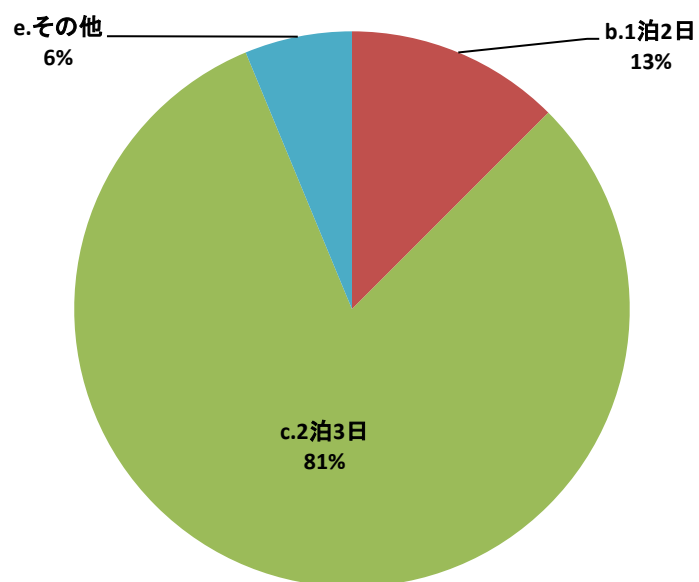


図8. 行程日数状況 (内訳)

2泊3日での利用が最も多かった。知床岬は2泊3日(16人中13人)での利用が最も多かった。

④トレッキングにきた目的を教えてください。(複数回答可)

図9に集計結果を示す。

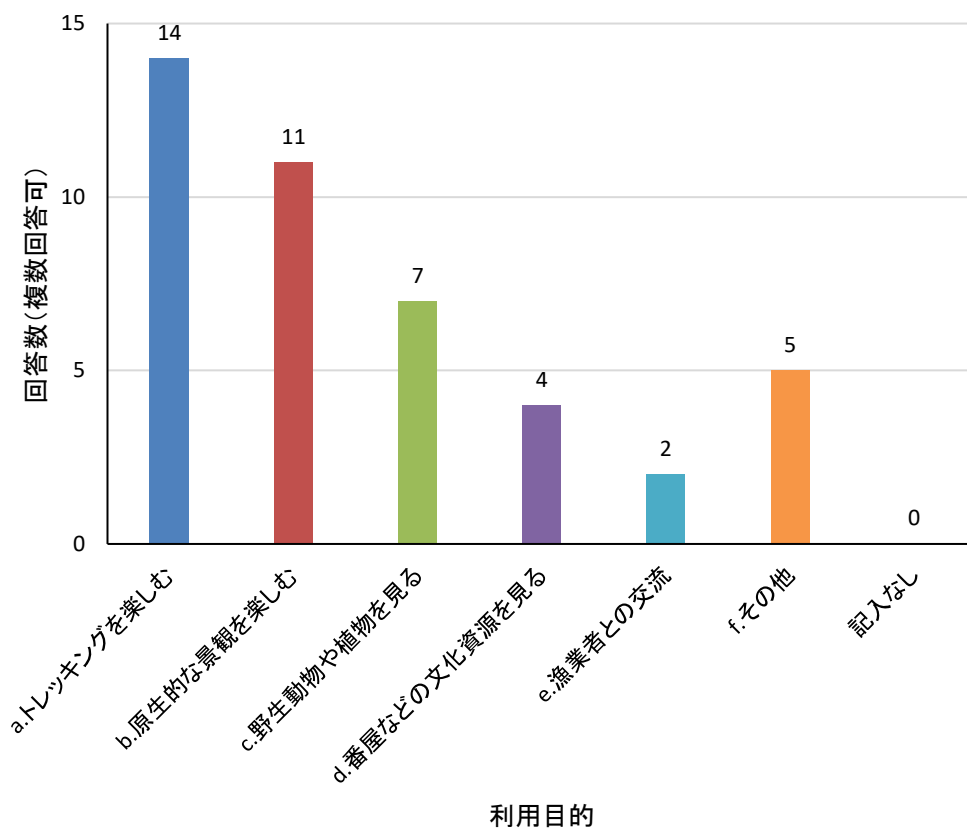


図9. 利用目的集計結果

「a」と回答した利用者が16人中14人と最も多く、次いで「b」(16人中11人)、「c」(16人中7人)が多い結果となった。「その他」と回答した3人の自由記入欄記載事項は下記の表1を参照。

表1. 図9の「その他」記載事項

No.	f.その他 記載事項
9	土器、手榴弾、化石探し
10	光の少ない場所でペルセウス座流星群を観る
11	相泊から知床岬を徒歩で往復する
12	知床岬まで行く
16	取材のため

⑤先端部地区のどのような所に魅力や価値を感じますか。(複数回答可)

図 10 に集計結果を示す。

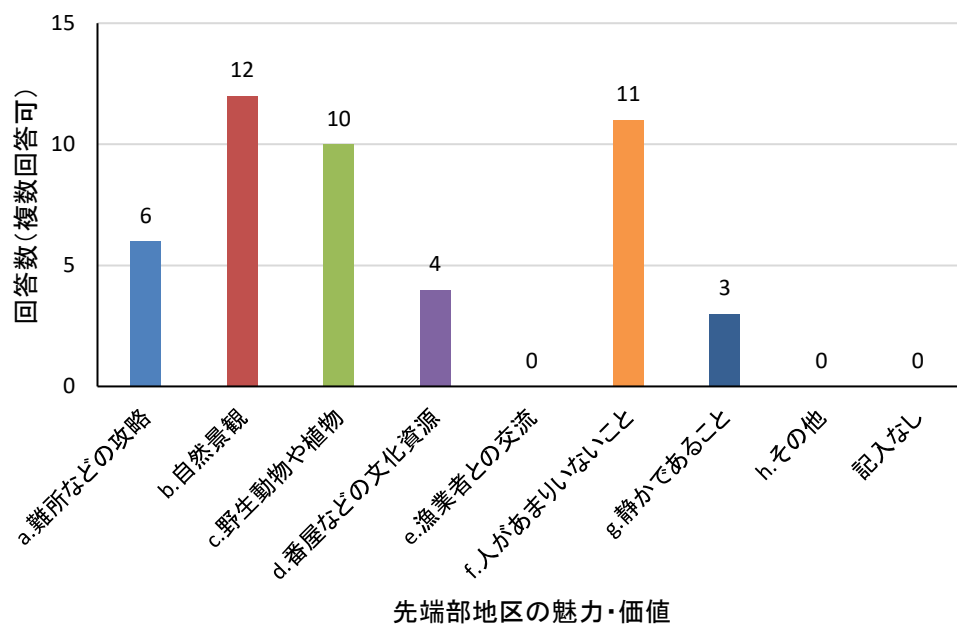


図 10. 先端部地区の魅力・価値の集計結果

「b」と回答した利用者が 16 人中 12 人と最も多く、次いで「f」(16 人中 11 人)、「c」(16 人中 10 人) が多い結果となった。

⑥トレッキング前後の船の利用について教えてください。

集計結果を図 11、12 に示す。

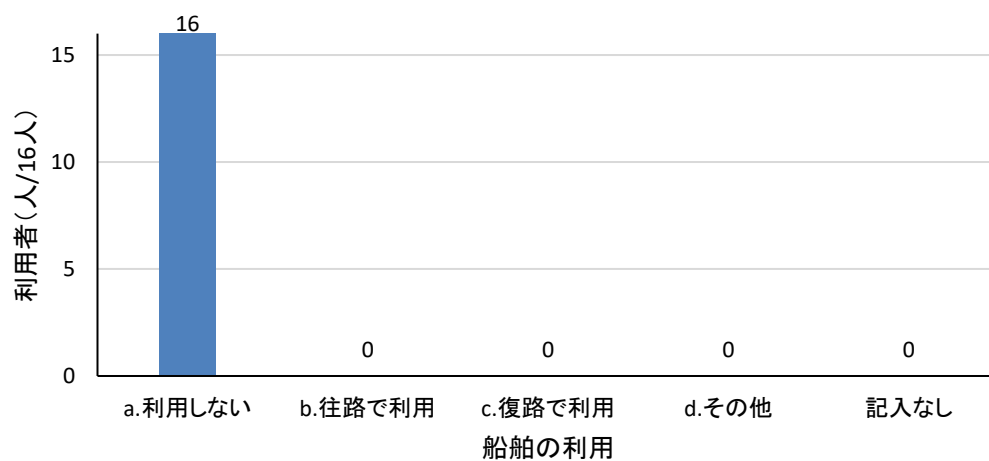


図 11. 船舶の利用状況の集計結果

⑦あなたが利用したいと思う先端部地区の利用形態を教えてください。(複数回答可)

集計結果を図 13 に示す。

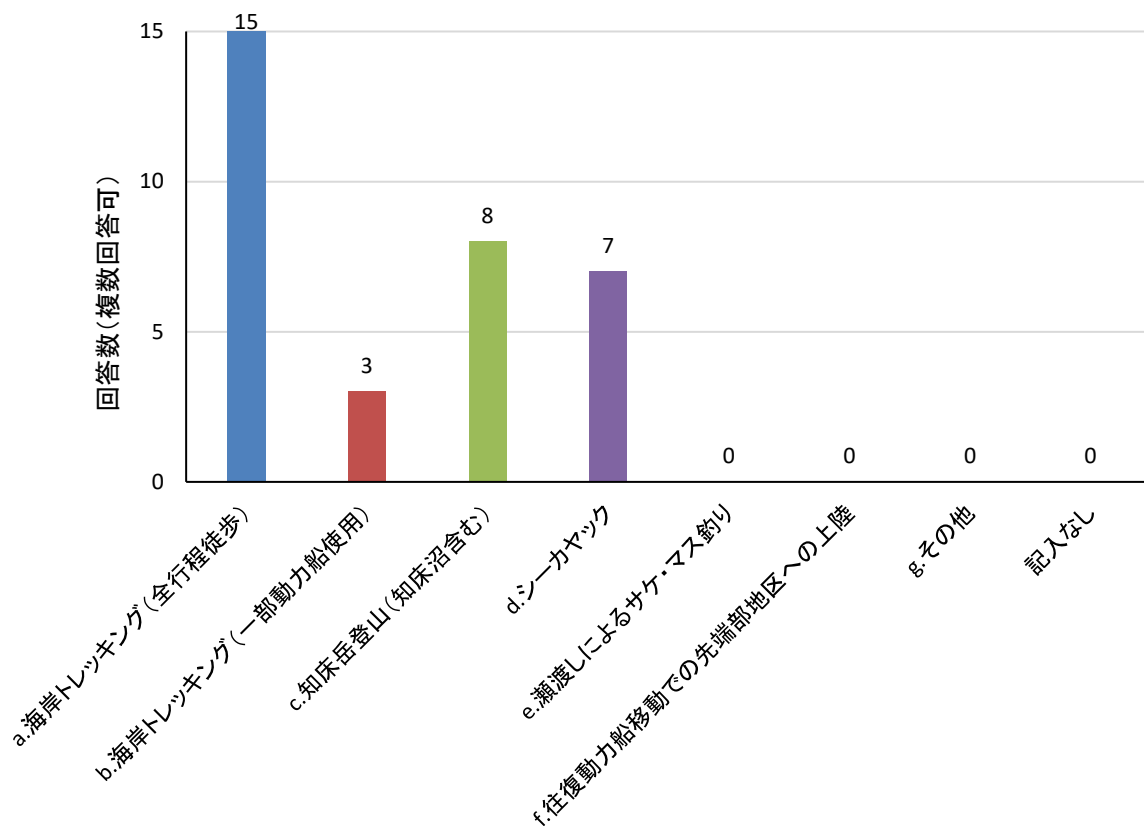


図 13. 利用者が希望する先端部地区の利用形態 (最大値 16)

「a」と回答した利用者が 16 人中 15 人と最も多く、次いで「c」(16 人中 8 人)、「d」(16 人中 7 人)が多い結果となった。

なお、知床岳は登山道整備が実施されていないことをすでに周知しているが、現在も年間 50 人以上 100 人未満ほどの利用者が確認されている。

- ⑧レクリエーション目的で先端部地区を利用する人が守るべきルールやマナーを定めた「知床半島先端部地区利用の心得」をご存知ですか。

図 14 に集計結果を示す。

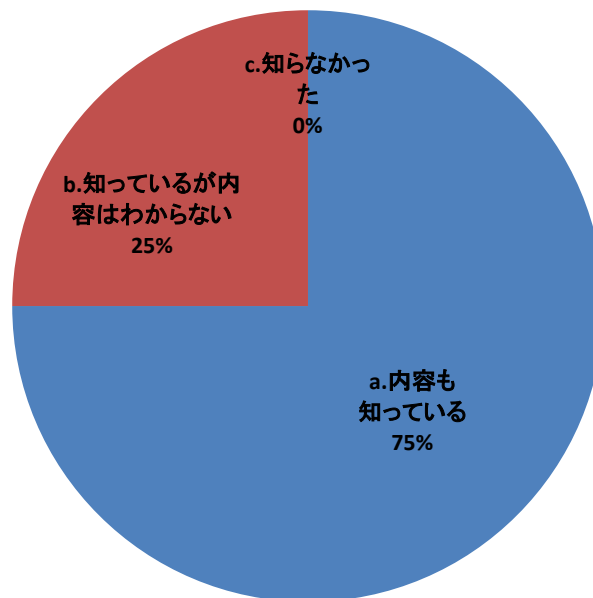


図 14. 「知床半島先端部地区利用の心得」の認知状況

利用者全体の約 8 割が「知床半島先端部地区利用の心得」を認知していた。認知していた利用者の約 2 割は内容を知らなかった。

⑨先端部地区を利用するにあたって、何で情報を得ましたか。(複数回答可)

図 15 に集計結果を示す。

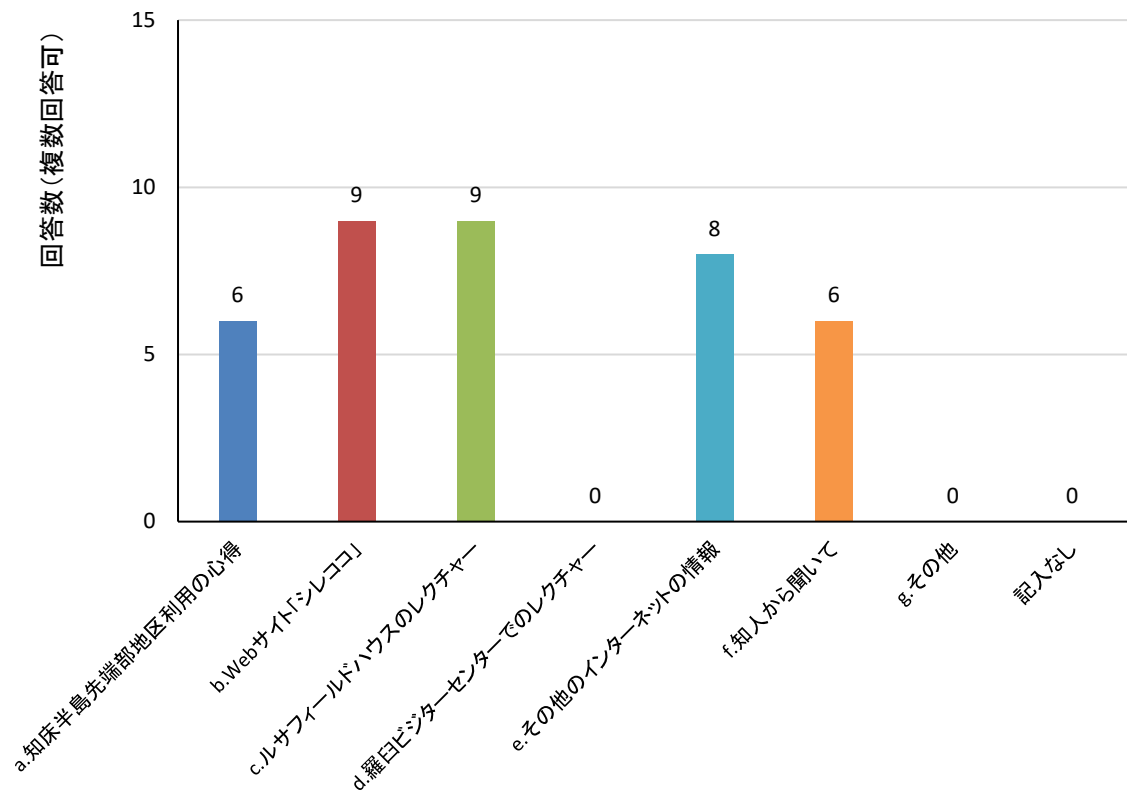


図 15. 先端部地区の利用方法等に関する情報収集源(最大値 16)

「b」「c」と回答した利用者が 16 人中 9 人と多く、次いで「e」(16 人中 8 人)、が多い結果となった。

⑩カブト岩の先にある赤岩地区に小型船で上陸し、活動範囲は同地区の海岸線のみとした上で、同地区における当時の漁業活動の歴史等を学ぶエコツアーが行われています。この取り組みについてご存知ですか。

※2021 年度はコロナ新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止しております。

集計結果を図 16 に示す。

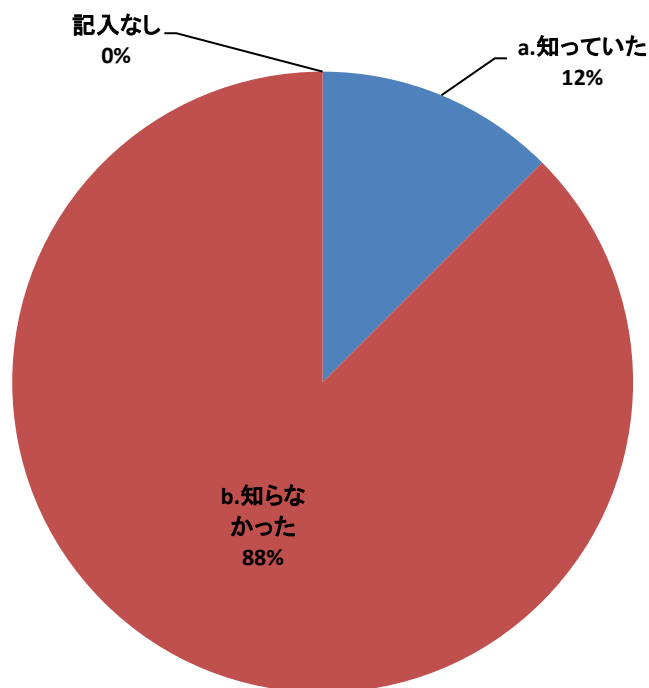


図 16. 赤岩エコツアーの周知状況

認知している利用者は全体の約 1 割であった。

⑪先端部地区の利用に関するご意見等ございましたら、自由にご記入ください。

6 件の回答があった。下記表 2 に各回答の内容を示す。

表 2. 自由回答

No.	記載事項
6	もう少し情報が欲しかった。
10	自己責任の範囲を超える状況(天候、熊、ケガ等)が起きた時の SOS 手段があれば心強いなと思いました。携帯電話状況の注意喚起なども入口にあればと思います。
11	朽ちていく施設(漁港や番地など)は修復せずにそのままの形で保存するとしても、看板などで施設の説明がされると、文化的な面白みに深みが増すかなと思いました。
13	カブト岩の高巻きの支点を作っただけなら皆さんが安全に利用できるのでもよろしくお願いします。

知床半島先端部地区の利用に関するアンケート 集計結果

令和3年10月22日
環境省羅臼自然保護官事務所

調査方法

実施期間中におけるルサフィールドハウス（羅臼町北浜）来館者のうち、先端部利用者（トレッキング利用）を対象とし、アンケート用紙を渡し回答を収集した。

実施期間

	期間	回収枚数	備考
H29	7月15日～10月31日	27	
H30	5月1日～10月31日	52	赤岩ツアー実施
H31/R1	7月1日～10月31日	31	赤岩ツアー実施
R2	7月17日～10月31日	29	新型コロナウイルスの流行
R3	7月15日～10月11日	16	5月15日～6月20日、8月24日～9月30日ルサFHおよびVCは新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館
合計		155	

質問事項

0. 年齢・性別
1. 先端部のトレッキングでの利用は何回目ですか。
2. トレッキングの最終到着予定地を教えてください。
3. トレッキングの日程を教えてください。
4. トレッキングに来た目的を教えてください。
5. 先端部地区のどのような所に魅力や価値を感じますか。
6. トレッキング前後の船の利用について教えてください。
7. あなたが利用したいと思う先端部地区の利用形態を教えてください。
8. レクリエーション目的で先端部地区を利用する人が守るべきルールマナーを定めた「知床半島先端部地区利用の心得」をご存知ですか。
9. 先端部地区を利用するにあたって、何で情報を得ましたか。
10. カブト岩の先にある赤岩地区に小型船で上陸し、活動範囲は同地区の海岸線のみとした上で、同地区における当時の漁業活動の歴史等を学ぶエコツアーが行われています。この取り組みについてご存知ですか。
11. 先端部地区の利用に関するご意見等ございましたら、自由にご記入ください。

知床半島先端部地区の利用に関するアンケート

知床半島先端部地区(相泊～知床岬、以下「先端部地区」)の利用状況を把握して今後の自然保護行政に生かすため、環境省羅臼自然保護官事務所では先端部地区を歩いて利用する(以下「トレッキング」)方を対象にアンケート調査を行っています。お手数ですが、ご協力下さいますようお願いいたします。なお、本アンケートにご記入いただいた内容は、アンケートの趣旨・目的以外には使用いたしません。

調査主体：環境省羅臼自然保護官事務所、北海道大学大学院農学研究院

記入日：令和3年 月 日

【年 齢】 a. 10代 b. 20代 c. 30代 d. 40代 e. 50代 f. 60代 g. 70代 h. 80代

【性 別】 a. 男性 b. 女性

1. 先端部地区のトレッキングでの利用は何回目ですか。() 回目
2. トレッキングの最終到達予定地を教えてください。(実際の到達地点ではなく、到達予定としていた地点を選んでください)
a. 観音岩まで b. トツカリ瀬まで c. モイレウシまで d. 近藤ヶ淵まで
e. 念仏岩まで f. カプト岩まで g. 知床岬まで h. 知床沼まで
i. 知床岳まで j. その他 ()
3. トレッキングの日程を教えてください。
a. 日帰り b. 1泊2日 c. 2泊3日 d. 3泊4日 e. その他 ()
4. トレッキングにきた目的を教えてください。(あてはまるものすべてを選んでください)
a. トレッキング自体を楽しむ b. 原生的な景観を見る c. 野生動物や植物を見る
d. 番屋などの文化資源を見る e. 漁業者との交流
f. その他 ()
5. 先端部地区のどのような所に魅力や価値を感じますか。(あてはまるものすべてを選んでください)
a. 難所などの攻略 b. 自然景観 c. 野生動物や植物 d. 番屋などの文化資源
e. 漁業者との交流 f. 人があまりいない、観光に利用されていない場所であること
g. 静かであること h. その他 ()

裏に続きます

6. トレッキング前後の船の利用について教えてください。
a. 利用しない b. 往路で利用 c. 復路で利用 d. その他 ()

7. あなたが利用したいと思う先端部地区の利用形態を教えてください。(あてはまるものすべてを選んでください)

- a. 海岸トレッキング(全行程徒歩)
- b. 海岸トレッキング(一部行程で動力船を使用)
- c. 知床岳登山(知床沼含む)
- d. シーカヤック
- e. 潮渡しによるサケ・マス釣り
- f. 往復動力船移動での先端部地区への上陸
- g. その他 ()

8. レクリエーション目的で先端部地区を利用する人が守るべきルールやマナーを定めた「知床半島先端部地区利用の心得」をご存知ですか。

- a. 内容も知っている b. 知っているが内容はわからない c. 知らなかった

9. 先端部地区を利用するにあたって、なにで情報を得ましたか。(あてはまるものすべてを選んでください)

- a. 知床半島先端部地区利用の心得
- b. Webサイト「シレコロ」
- c. ルサフィールドハウスでのレクチャー
- d. 羅臼ビジターセンターでのレクチャー
- e. その他のインターネットの情報
- f. 知人から聞いて
- g. その他 ()

10. カプト岩の先にある赤岩地区に小型船で上陸し、活動範囲は同地区の海岸線のみとした上で、同地区における当時の漁業活動の歴史等を学ぶエコツアーが行われています。この取組についてご存じですか。

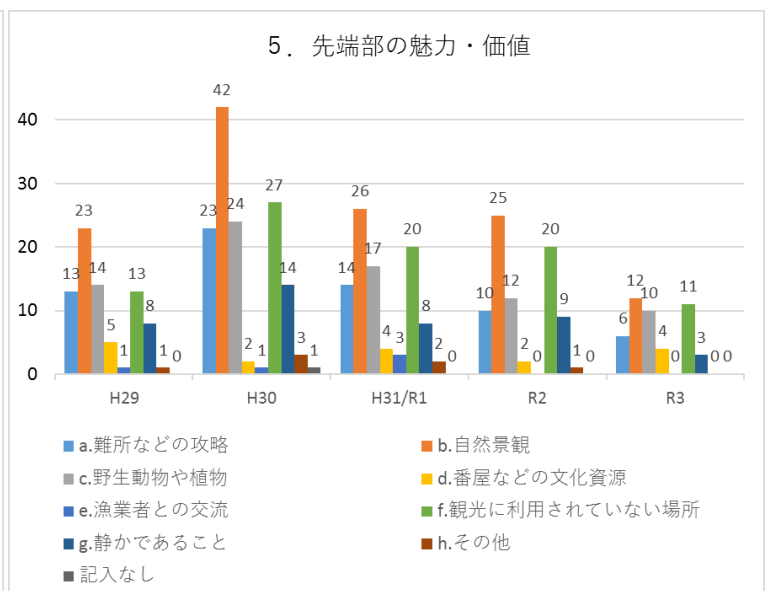
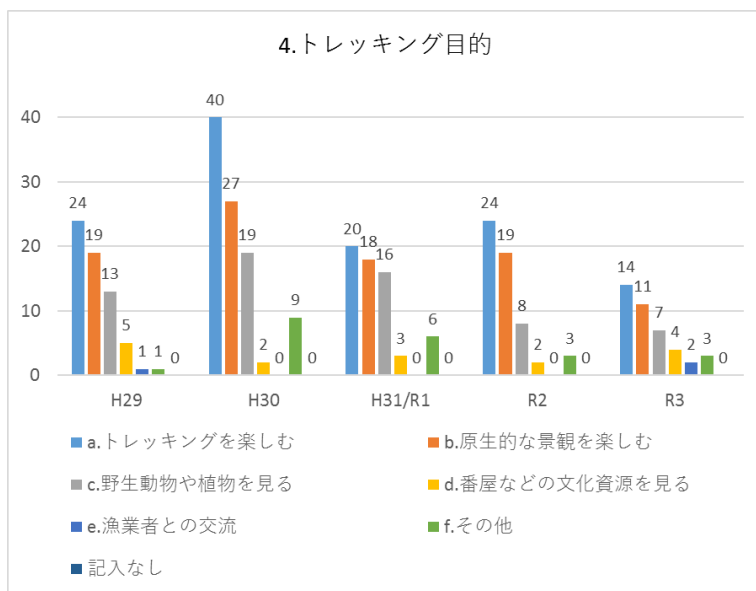
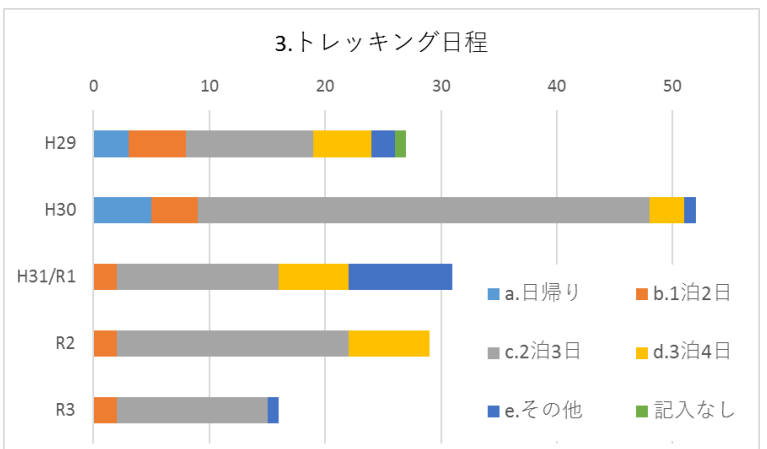
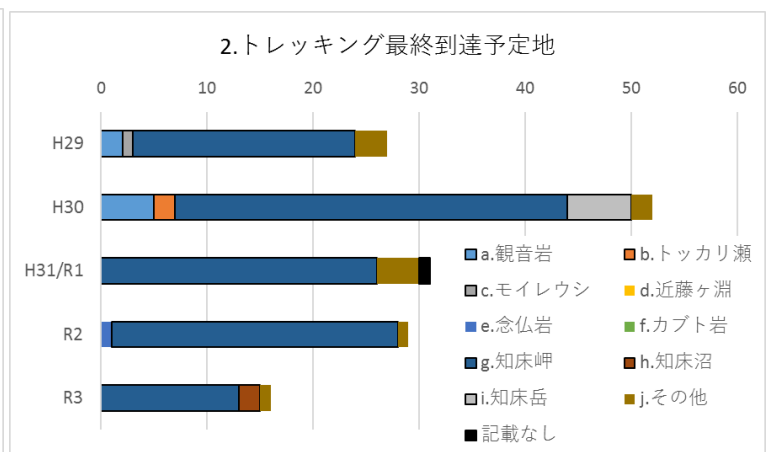
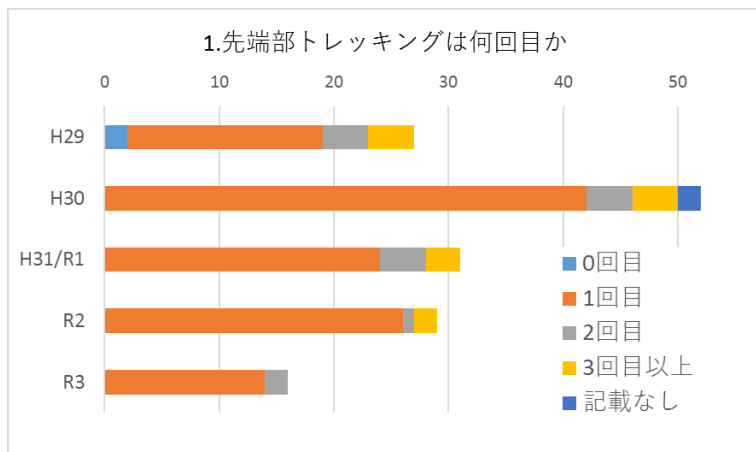
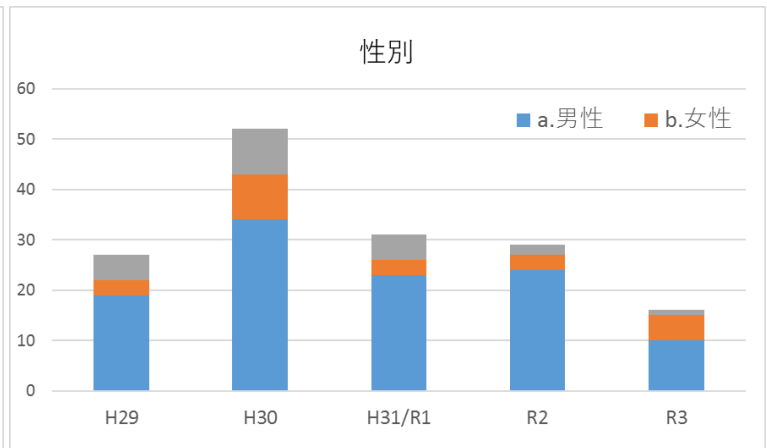
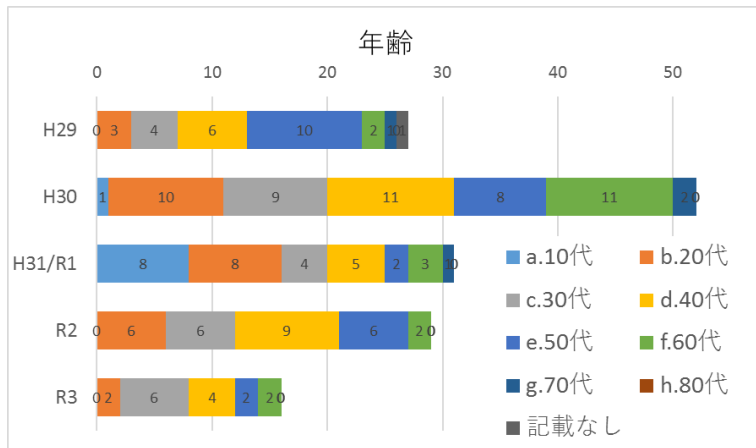
- a. 知っていた b. 知らなかった

11. 先端部地区の利用に関するご意見等ございましたら自由にご記入ください。

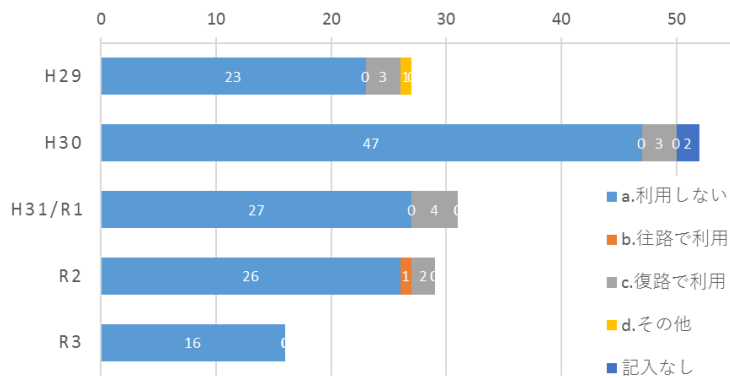
回答は、①ルサフィールドハウスのスタッフ、②知床羅臼ビジターセンターのスタッフ、③ルサフィールドハウスのポスト、④相泊に設置された入林箱のいずれかに提出下さいますようご協力をお願いいたします。

ご協力ありがとうございました

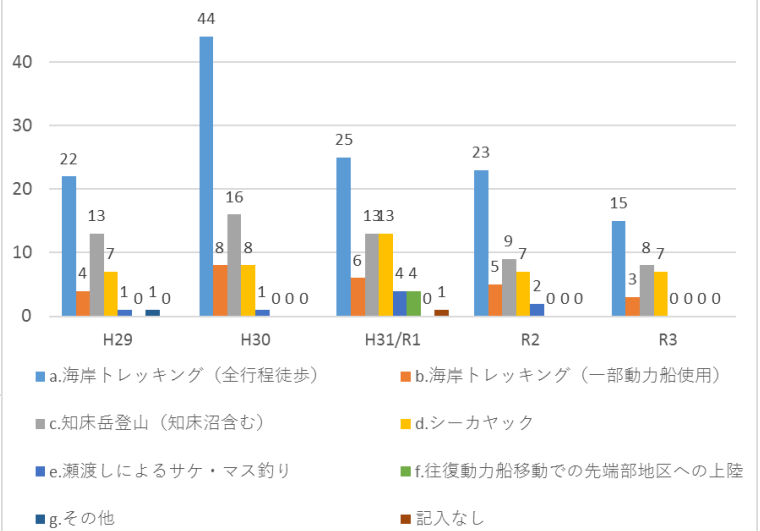
調査結果



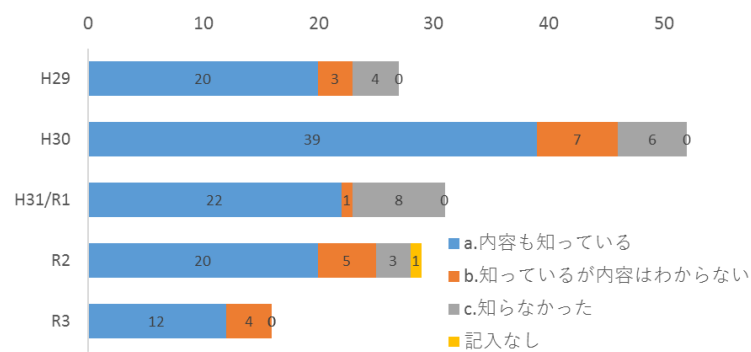
6. 船舶利用



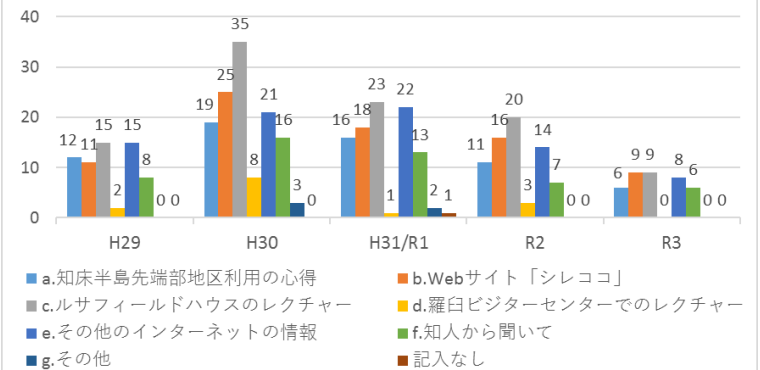
7. 希望利用形態



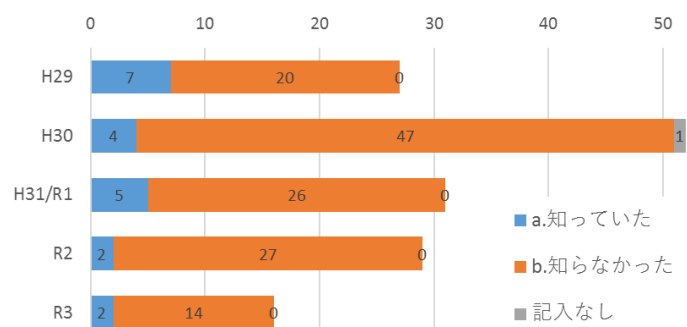
8. 「知床半島先端部地区利用の心得」の認知



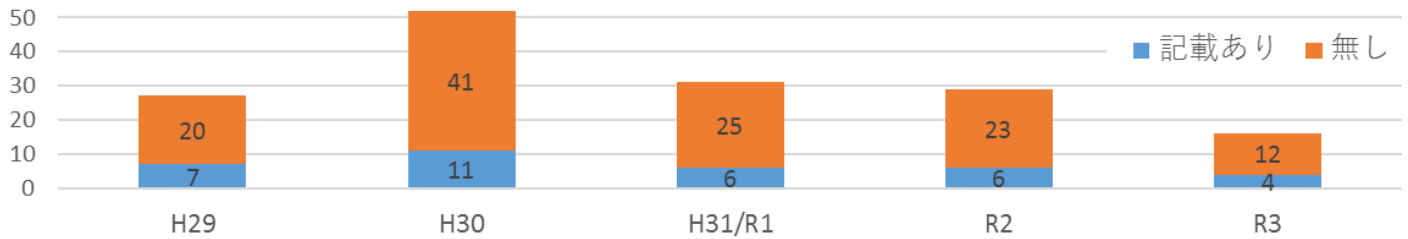
9. 情報収集媒体



10. 赤岩エコツアーの認知



11.自由回答とりまとめ



H29	・ 海岸歩きをしてみたいです。 ・ マナーを持って行動すること。謙虚な気持ちを持つこと。人に頼らず自分の意志で動くこと。 ※ 赤岩への動力船での上陸ツアーは反対！絶対に！自力で辿り着いてこそ岬である。岬の神秘性が無くなる。苦労しての岬。ご馳走。 ・ 丁寧に説明いただき、ありがとうございました。 ・ 貴重な自然を自分の目で確かめてみたい。 ・ 情報ありがとうございます。大変助かります。 ・ 動力船の上陸制限強化をお願いしたいと思います。
H30	・ 事前に必要な情報を得ることができました。大変参考になりました。 ・ ごていねいな説明をいただきありがとうございました。 ・ 知床岬最高です！ ※ エコツアーは止めてほしい。苦労して赤岩まで行って楽しめた人たちに合った時、何ともいえない気分になる。 ・ 自然のFto (?) を今後ともアピールしてほしい。 ・ 楽しんでいます。 ・ 行ってきてからでないと魅力・価値は分からない。 ・ 情報を教えてもらい助かった。 ・ 何度もルサフィールドハウスに電話しました。対応ありがとうございます。 ・ ルートがわかりづらいところもあり、気象、海象の情報共有をビジターセンター等で頂けると助かります。 ・ 静かで良いとこ知床岬。
H31/R1	・ 自然の厳しさを体験でき、貴重な体験でした。漁師の方々に大変お世話になりました。地元の方と交流し、沢山学ぶことができました。今回のトレッキングは一生の思い出になりました。本当にありがとうございました。 ※ エコツアーでの上陸は何かあっても反対!!!!!!楽しんで上陸はありえない!!!!!! ・ 今の現状を維持していただけたら嬉しいです。沢山入り過ぎない。心得のある人だけ立ち入る... ・ 現状を維持していただけたら嬉しいです。 ・ 次回は頑張ります。 ・ 世界遺産のハイマツを折って進む藪漕ぎは良くないと思いました。
R2	・ web上の情報が少なかったので充実してほしい。 ・ お陰様で安全に楽しめました。ありがとうございました。 ・ すばらしい岬でした。 ・ 人と自然の共存（共生）をを考え続けたい。 ・ 特にありません。楽しかったです。 ※ 赤岩地区への動力船での上陸を行うエコツアーは絶対に反対です。2019年からは赤岩での昆布番屋は不在となって番屋が残るのみ。当時の漁業活動の歴史等を学ぶなら、番屋が現存している崩浜で良いのではないのでしょうか。赤岩まで行っても上陸せず海から眺めるだけにすべきです。一般人は赤岩上陸させないのが知床岬のためと考えます。但し相泊から徒歩で自然と向き合って苦労と危険を自己責任で行う人達だけが赤岩へたどりつく事、足を踏み入れる事とするべきと考えます。赤岩及び知床岬は特別な地区とするべきと考えます。日本の他と異なるフィールドのため。
R3	・ もう少し情報が欲しかった ・ 自己責任の範囲を超える状況（天候・熊・ケガetc）がおきたときの、SOSBOXのような、SOS手段があれば心強いなと思いました。携帯電波状況の注意喚起なども入り口にあればと思います。 ・ 朽ちていく施設（漁港や番地など）は修復せずにそのままの形で保存するとしても、看板などで施設の説明がされると、文化的な面白みに深みが増すかなと思いました。 ・ カブト岩の高巻きの支点を作っていただけたら皆さんが安全に利用できるのもよろしく願います。

注：※のコメントは先端部トレッキング回数の増加率等から同一人物による可能性あり。